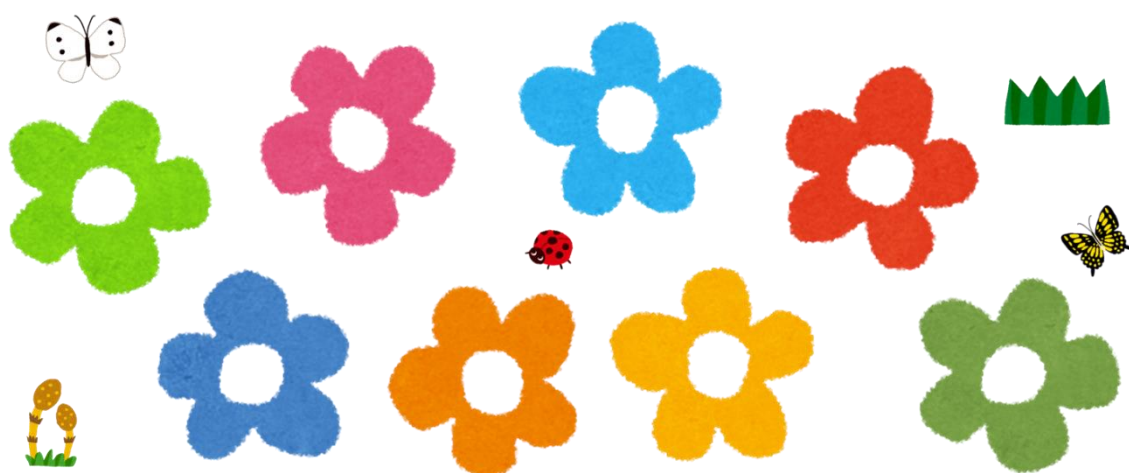


平成 29 年度 第 1 回

地域懇談会報告書

地域を越えてつながろう!!



the splendor of a variety of blooming flowers

～色々な花が咲き乱れる～

日野市企画部地域協働課



はじめに

今まで、日野市地域懇談会は、地域の声を聞いて市政に反映させるため、自治会長に集まっていたき、市役所と自治会とで情報交換を行うとともに、自治会同士でも情報交換を行っていただく場となっていました。

日本が高度経済成長期の頃、日野市は都市化・工業化の波を受けていました。今までの田畑・丘陵地帯は急速に宅地化が進み、人口が急激に増加しました。また、大企業の誘致が行われ、工業都市としての顔も持ち合わせていきました。急速に流入した新住民は、地元の自治会に加入し、地域コミュニティは順調な様子を見せていました。

しかし、それから **50** 年余が経ち、超少子超高齢社会が到来し、人口減少社会が始まろうとしています。日野市でも自治会を支えた世代の高齢化が始まり、自治会加入率は **50%** を切っています。地域では新たな課題が複雑に絡み合い、“じわじわ”と進行し、自治会のみで対応することは難しい状況です。

こうした状況に対応するため、日野市では、平成 **26** 年度より、「諸力融合」をテーマにして、自治会をはじめ様々な地域活動を行う人々が集まり、地域の“人”と“場所”をつなぐ場として、地域懇談会を改革しました。

「知る」・「考える」・「動き出す」をテーマとし、市内八中学校区ごとに、地域の人たちで地域の特徴・課題を見つけ出し、“地域の力で解決できる方法”を考え、地域の力で実行するというチャレンジを行ってみました。

このチャレンジを「アクションプラン」と呼んでいます。

「アクションプラン」は市内八中学校区の特徴＝色が表れた多彩な内容となっており、今年も継続して各地区で実施されています。

他方で、どの地区も共通して大切にしていたのは「地域のつながり」でした。

八地区八色のアクションプラン。共通点もあるし、相違点もあります。これを市全体で共有することで、新しい地域コミュニティづくりのヒントが見えてくるかもしれません。また、**1**つの中学校区で解決できる限界も見え、一方で他地区では解決できる手段を持ち合わせている場合もあったり、他地区の方法を取り入れたら相乗効果を生む可能性も秘めていました。さらに、アクションプランに関わった方々が中学校区の枠を越えてつながることができたら、そこに新しい科学反応が生まれるかもしれません。

そこで、各地区のアクションプランの実施状況を市全体で共有する、全地区合同の地域懇談会を開催しました。

本書は、以上の経緯から開催した平成 **29** 年度第 **1** 回地域懇談会の開催報告書です。

新たな気づきや発見があり、自分たちの地域活動に取り入れていただくほか、新たな仲間を見つけるきっかけになれば幸いです。

I	開催概要.....	1
II	地域懇談会とは.....	2
III	日野市新しいコミュニティづくり白書.....	7
IV	各中学校地区のアクションプラン.....	11
V	パネルディスカッション.....	36
VI	懇親懇談会.....	45
VII	アンケート結果.....	47
VIII	自治会アンケート調査まとめ(抜粋)	65
IX	おわりに.....	68

I 開催概要

1 実施日時・場所

平成 29 年 6 月 3 日(土)11:30～13:50 ひの煉瓦ホール(日野市民会館)大ホール
《懇親懇談会》14:00～15:00 同 小ホール

2 主な内容

(1) 新しいコミュニティづくり白書

地域協働課が今まで行ってきた地域コミュニティ施策の改革について、「白書」という形で振り返り、これからの新しいコミュニティのあり方の方向性について報告しました。

(2) 各中学校区のアクションプラン報告

市内八中学校区で行っているアクションプランの実施状況について、各地区の実行委員から報告をしてもらいました。

(3) 各地区のアクションプラン代表者によるパネルディスカッション

株式会社まちづくり研究所代表取締役 井上赫郎氏のコーディネートのもと、市内八中学校区の実行委員でアクションプランについて話し合いました。

3 参加人数

約 420 人 (※うち、懇親懇談会参加人数は 140 人)

■参考：前回までの参加人数・団体一覧表

地区名	H26年度		H27年度				H28年度			
	第1回	第2回	第1回		第2回		第1回		第2回	
	人数 (人)	人数 (人)	人数 (人)	団体数 (団体)	人数 (人)	団体数 (団体)	人数 (人)	団体数 (団体)	人数 (人)	団体数 (団体)
一中地区	47	48	49	42	32	28	33	27	28	21
二中地区	39	38	45	29	43	30	44	26	40	25
七生中地区	36	49	55	37	38	30	35	24	41	30
三中地区	36	36	34	27	34	26	34	25	28	20
四中地区	37	32	50	30	50	46	51	37	36	28
三沢中地区	76	45	60	43	43	30	52	36	32	28
大坂上中地区	38	39	44	28	44	27	34	24	38	29
平山中地区	57	34	49	38	42	27	48	34	36	23
1地区平均	45.17	41.33	48.83	34.67	40.00	31.67	41.50	29.17	34.17	25.33
合計	366	321	386	274	322	234	331	233	279	204

※H26 年度のみ参加団体数は集計しておりません。



日野市民の将来～まとめ～

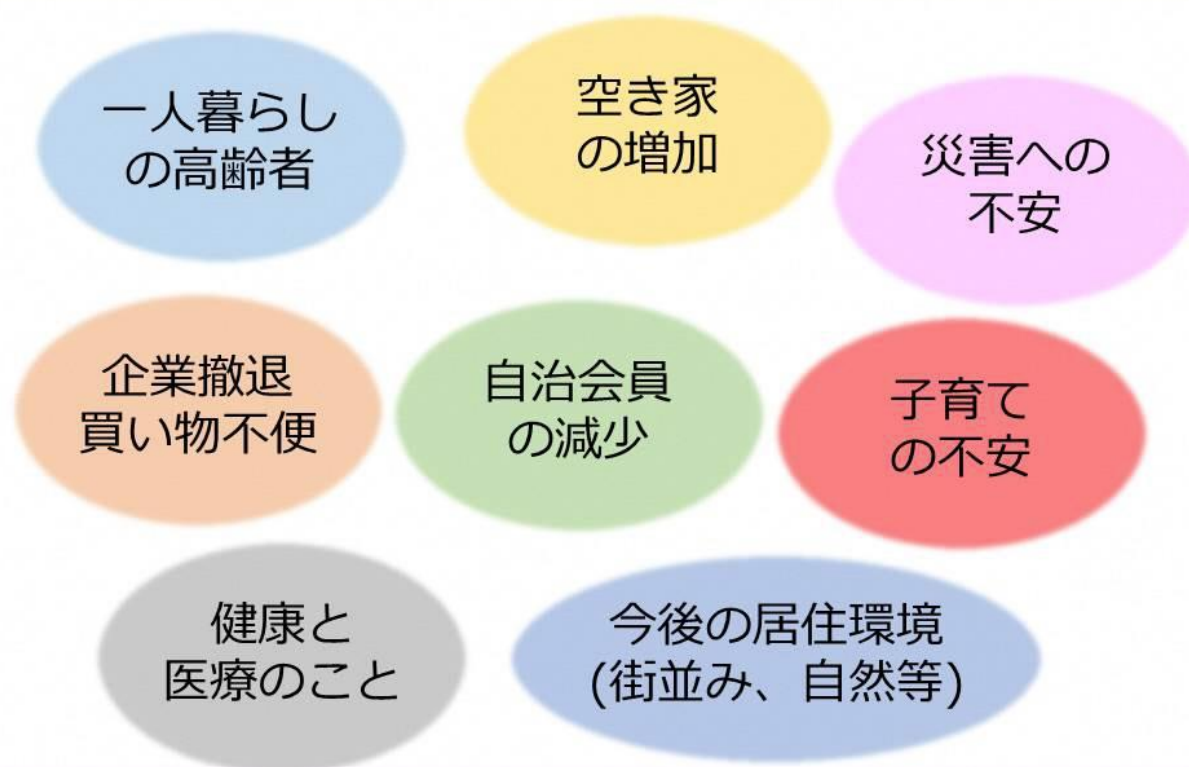
- ・日野市の人口は平成37年をピークに減少していく。



- ・高齢化率は増加の一途をたどる。



人口減少と少子高齢化から来る地域課題



地域の構成要素（今までの地域懇談会）



日野市企画部地域協働課

地域の構成要素（H26からの地域懇談会）



日野市企画部地域協働課

地域懇談会

自治会をはじめ、様々な地域活動を行う人々が
つながる場

- ① 様々な視点や立場から、地域の課題などを知り、考え、共有する。
- ② 地域の人々がお互いの活動を知り、理解を深める。
- ③ 地域の人々がつながり、それぞれの活動の幅を広げる。

3
か
年
計
画

平成27年度
地域が地域コミュニティ活性化を考える!!

平成26年度
地域が地域を知る!

平成28年度
地域がつながり
動き出す…!!!

日野市企画部地域協働課

今までの地域懇談会

平成26年度

平成27年度

平成28年度

平成26年度 **地域が地域を知る!**

[第一回]

8中学校区ごとに地域の
すてきな場所マップづくり



[第二回]

まちあるき



地域の資源・いいところ・課題を発見・共有

日野市企画部地域協働課

今までの地域懇談会

平成26年度

平成27年度

平成28年度

平成27年度 **地域が地域コミュニティ活性化を**考える!!****

[第一回] 地域の課題解決には様々な方法がある中で
「**地域みんなで行う取組み**」を「**アクションプラン**」
と呼び、8中学校区ごとに地域の皆さんで考える。

[アクションプラン検討会]

具体的な**アクションプラン(案)**をかたち作る



[第二回] **地域で広く取り組めるものにするためのアイデア**
を出し合う。

日野市企画部地域協働課

今までの地域懇談会

平成26年度

平成27年度

平成28年度

平成28年度 **地域がつながり**動き出す…!!!****



[第一回] 各地域で広く取り組んでいくために
アクションプランの効果と関わり方を考える。

[アクションプラン実行委員会]

地域懇談会で検討したアクションプランを実行に移す
市民有志の実行委員会

市内8中学校区ごとのアクションプラン実行！

日野市企画部地域協働課

Plow
耕す

つながりづくりの
畑を耕す



Plant
種まき

つながりづくりの
種をまく



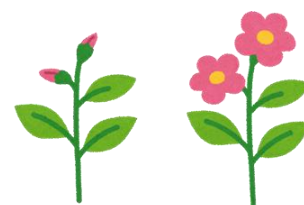
Grow
育む

地域 みんな
で育んでいく



Bloom
開花

つながり
が花開く



Ⅲ 日野市新しいコミュニティづくり白書

地域協働課が今まで行ってきた地域コミュニティ施策の改革について、「白書」という形で振り返り、これからの新しいコミュニティのあり方の方向性について、地域協働課から報告いたしました。

本報告書では、その一部を抜粋して掲載します。

詳細については、日野市 HP または図書館にてご覧いただけます。



各中学校区のアクションプランが進む中で、我々は実行委員会に参加する人たちの姿勢を学ぶことができました。

各地区の人たちはそれぞれの地域活動を行う時に育んだ独自の方法論やネットワークを持ち、地域住民を巻き込んで活動しています。

何よりも本人たちが楽しんで活動を続けていく“知恵”がそこにありました。

～ 3つの知恵 ～

○ 「できることを持ち寄る」

○ 「ゆるやかなつながり」

○ 「地域の“個性”を楽しむ」

日野市を愛する人たちが、

「まちづくり人」^{びと}

3

「地域コミュニティ」 + 「ケア(福祉など)」
= 暮らしの安心

新たな地域の課題

超高齢化に起因する
高齢者の孤立化・認知症による徘徊

地域の防犯・防災

子どもの貧困

“つながりの希薄化”が、生活課題の根本にある。

これからの「新しいコミュニティづくり」施策

「面」の施策

－ 中学校区での取組み－

各中学校区のアクションプランを

地域懇談会と並走しながら継続していきます。

「点」の施策

－ 人と人をつなぐ“場所”と“場”づくり －

“場所”＝物理的な空間



“場”＝心と心のつながり



地域の課題解決や「魅力向上」への知恵
が生まれる「共創の場」

新しい知恵が創り続けられる“共創の場”

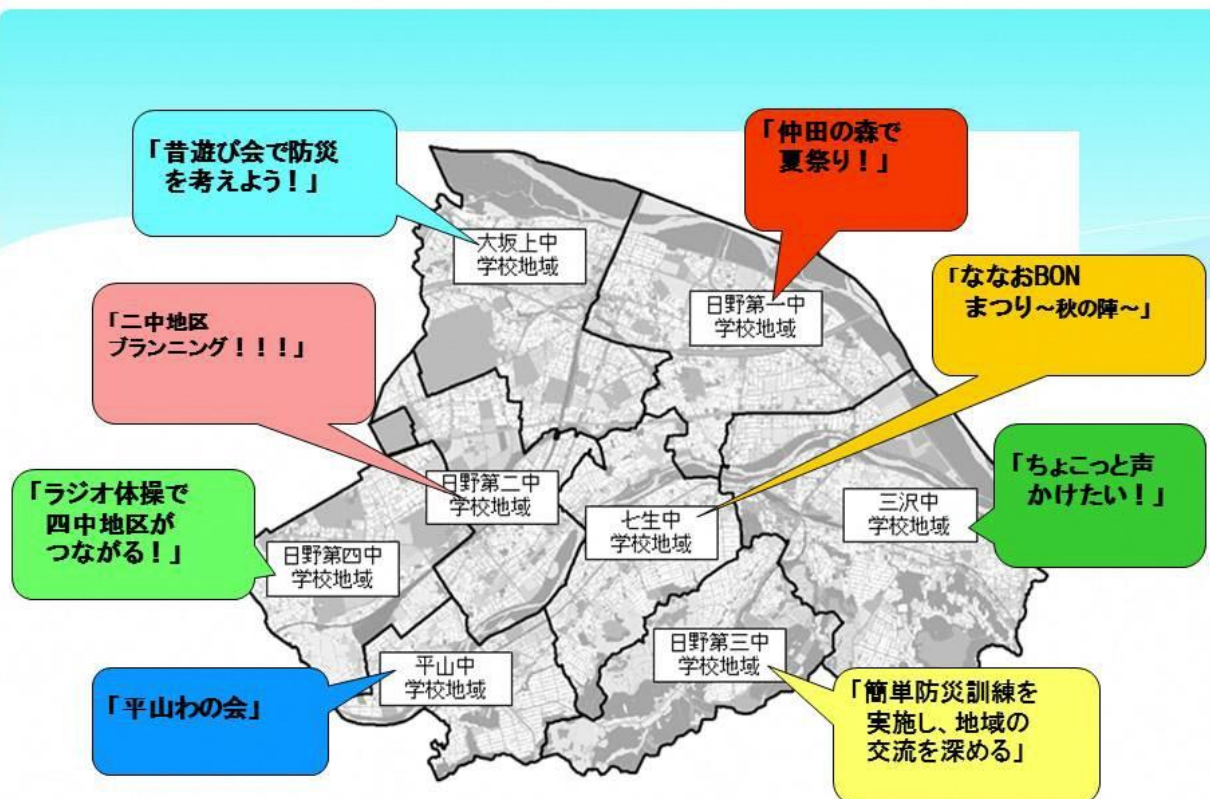
楽しく参加

互助・共助



3つの知恵

自分らしく誇りを持って生きられる
住みがいのあるまちへ！



Ⅳ 各中学校区のアクションプラン

■アクションプランとは??

地域課題を解決するには様々な方法がある中で、“地域の力で解決する取組み”をアクションプランと呼び、市内八中学校区ごとに検討し、平成 28 年度から実施しました。

■平成 28 年度に実施した各中学校区のアクションプラン

	中学校区	アクションプラン
1	一中地区	仲田の森で夏祭り 夏休みのラジオ体操の後、仲田の森蚕糸公園で大声コンテスト等のイベントを行い、交流の場を創る。
2	二中地区	二中地区ブランニング!!! ブラブラ歩きながら、地域の魅力を活かす方法をブランニングすることで、地域に興味を持つ人を増やす。
3	七生中地区	ななお BON まつり かつて七生のコミュニティをつないでいた「盆踊り祭」を新しい形で復活させ、七生の地域団体をつなぐ。
4	三中地区	簡単防災訓練を実施し、地域の交流を深める 楽しみながら出来る防災訓練（イザ!カエルキャラバン）を行い、訓練実施後に交流会を開き、交流を深める。
5	四中地区	ラジオ体操で四中地区がつながる!! 夏休みの子どものラジオ体操を四中地区全体で取り組むことで、子育て世代と高齢者が顔見知りの関係になる機会を創る。
6	三沢中地区	ちょこっと声かけたい 地域のイベント開催時に、日ごろから「ちょっと気になる人たち」「きっかけが欲しい人たち」に声をかける。
7	大坂上中地区	昔遊び会で防災を考えよう! 昔遊び等遊びながら防災を学べるプログラムなどを活用して、多世代交流と同時に防災・減災につなげる。
8	平山中地区	平山わの会 地域の課題などについて、毎月みんなで懇談する場。良い取組みがあれば、皆で実行していく。

一中地区



特徴と課題

特徴

活発に活動する団体が多い

若い地域

課題

自治会では高齢化

自治会加入率低下

新しく入って来た人との交流が少ない

イザという時助け合えるのは近所

「顔の見える関係」を作ろう！

アクションプラン

仲田の森で夏祭り！

- ・8月27日(土) 午前9時～
- ・仲田の森蚕糸公園

約200人



団体紹介の一部（当日パンフレット）



オープニング



ラジオ体操





■「有言実行大声コンテスト」■

一中地区には、活発に活動している団体がたくさんあります。でも、どの団体が何をしているか、なかなかわかりませんでした。

そこで、まずは顔を合わせてつながろう、みんなが集まる場所で大声でやりたいことを口に出し、みんなで共有しよう、との思いで始めました。

有言実行大声コンテスト



有言実行大声コンテスト



出店の様子



有言実行大声コンテスト



出店の様子



一中吹奏楽部



二中地区



関心をもってもらうには？

この二中地区の
地域の魅力を知って、
活用することによって、
関心をもってもらい、
仲間を増やそう!!

特徴と課題

課題

- 1 新・旧住民の交流の場が少ない
- 2 自治会の情報が伝わらない
- 3 高齢者が若い世代と交流する場が少ない
- 4 商店の活性化

地域内の
人と人のつながりを
創ることで
課題解決の
一歩に!!

なぜつながりが希薄になったのか？

A 地形
(台地・線路等)

B 働き方
核家族化

C 関心をもつ
機会がない

ここに着目してアクションプランを計画!!

二中地区の

地域の魅力って？

二中地区の魅力



明治39年（豊田駅ができて6年後）



昭和23年（二中ができて2年目）



二中地区とはどんなまち？

昭和42年



New Town × Classic Town

二面性のある
このまちで

ブラブラ歩きながら地域の
魅力を発見し、
活用する方法を
プランする。



平成28年度

**まずは！
おすすめスポット探し**

平成28年度第1回地域懇談会
参加者7チームに
分かれてブラブラ
おすすめスポットを
探しました！



Aチーム 多摩平自然と歴史めぐり ～カワセミに会えたら良いな！～



Bチーム 泉塚地域でフクロウを探そう!



Eチーム MPC (メンチ・パーク・ケーキ)



Fチーム 湧水を見ながら美味しいもの探し



Gチーム 夏の味覚狩りツアーin豊田南口



実践女子大学との協働で作成!



ブランニングマップ完成！



私たちが歩いて選んだ気になるスポット46



平成29年度 ブランニング

平成29年4月～10月

平成29年10月～3月

平成30年3月

二中地区団体限定ツアー



A団体



コラボ



実行委員会

二中地区内の団体と一緒にブランニングをし、
普段気付かなかったまちの魅力を発見し、
団体間の交流を深めます。

22

平成29年度 ブランニング

平成29年4月～10月

平成29年10月～3月

平成30年3月

誰でも参加OKツアー

- ①平成29年10月21日（土）10：00～
- ②平成29年11月18日（土）10：00～
- ③平成29年12月16日（土）10：00～
- ④平成30年1月13日（土）10：00～

二中地区に住んでいる新住民の方を中心に、
二中地区の魅力を紹介するツアーを
実行委員会主催で、4回行います。

平成29年度 ブランニング

平成29年4月～10月

平成29年10月～3月

平成30年3月

平成29年度ブランニング写真展を開催

ブランニングでまちを歩きながら
撮った写真を集め、
二中地区の魅力が詰まった写真展を
開催予定です。



- 日時：平成30年3月どこかの1週間
- 場所：イオン

24

Plan ⇒ B
Do
Check
Action

Buranning
ブランニングから

Daily
日々の

Communicate

コミュニケーションがある

プランニングから365日のつながりへ!!

Buranning
Daily
Communicate
Action

Action

365日の活動へ



2016年10月22日（土）実施 準備開始！

準備には朝から
実行委員会以外の多くの人が参加してくれました。



手作りアーチ設置



受付準備！ 地域サポーターも一緒に



外では焼きそば等の出店 & BONダンス



アリーナ内では紙飛行機大会やフリーマーケット



結果



出展団体

協賛団体

結果



結果

当日の参加人数

770

1978年

2016年

今年度 ななおBONまつり お知らせ

七生の宝に!

2017年
9月9日(土)
@南平体育館



三中地区



三中地区のアクションプラン

三中地区

地域の課題

- 1 **防災減災**
- 2 つながりが希薄
- 3 高齢化が進んでいる (市内で一番)

地域の特徴

- 大学がある
- 丘陵地がある

課題を克服するには、地域内の交流を活発にすること。

2

三中地区のアクションプラン

三中地区



1

三中地区のアクションプラン

三中地区

三中地区のアクションプランは、

「簡単防災訓練を実施し、地域の交流を深める」

何もしなければ地域は変わらない。
防災をテーマにつなごう。
小さなことでも始めてみよう。

3

簡単防災訓練は、

三中地区

簡単防災訓練

=イザ!カエルキャラバン!

楽しみながら...

- 1 防災について知ることができる。
- 2 みんなが顔見知りになることができる。
- 3 失敗したって良い。
やっ、やっ、また、考える。
- 4 実施後には「楽しい」交流会。

4

ジャッキアップゲーム

三中地区



5

三中地区



8

三中地区



9

三中地区



10

三中地区



1

三中地区



6

三中地区



11

三井台自治会(かしまだい地区広場)

三中地区

平成28年11月13日

参加者 43名



12

ゆざわここからネット(湯沢福祉センター)

三中地区

平成29年3月4日

参加者 38名



13

三中地区アクションプラン 新プロジェクト

アプリケーション「CERD-AR」を利用した防災、減災



三中地区は高齢化が一番深刻な地域だと言われていますが...

若い人達も
負けてられない



ゆざわここからネット10周年記念祭り
大入り満員の会場の様子

CERDサポートチームを結成
参加者募集中！！

Actionを待つのではなく
自らActionを起こす

バタフライ効果

The Butterfly
Effect



四中地区



四中地区アクションプラン

若い世代と高齢者世代、昔からの住民と新しく来た住民とが、楽しく気軽につながるきっかけを作ろう!!

**ラジオ体操で
四中地区がつながる!!**

地域ラジオ体操会場 **総動員数6,053人**



四中地区の特徴と課題

特徴

旭が丘中央公園

子どもの割合が
市内で一番多い

集合住宅の割合が
市内2番目

課題

集合住宅と
戸建て住宅の
つながりの希薄化

若い世代・新しい
人々が自治会に
入ってこない

子育て世代の
忙しさと負担感

準備



旭が丘中央公園



旭が丘東公園



日野第六小学校



ビバヒルズ中庭



西平山第一公園



多摩平第七公園



大和田運動広場



夏休み前期・後期の2週間に、
7中学校区で行った地域ラジオ体操
トータル動員数＝**6,053人**！
地元の自治会の方などがスタンプ押しなどを
手伝ってくれました♪



多世代交流の仕掛け



8時だよ！全員集合！ in 旭が丘中央公園



8時だよ！全員集合！ in 旭が丘中央公園



8時だよ！全員集合！ in 旭が丘中央公園



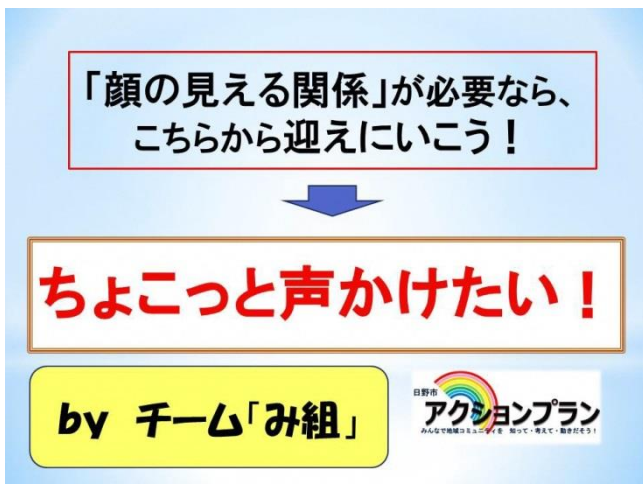
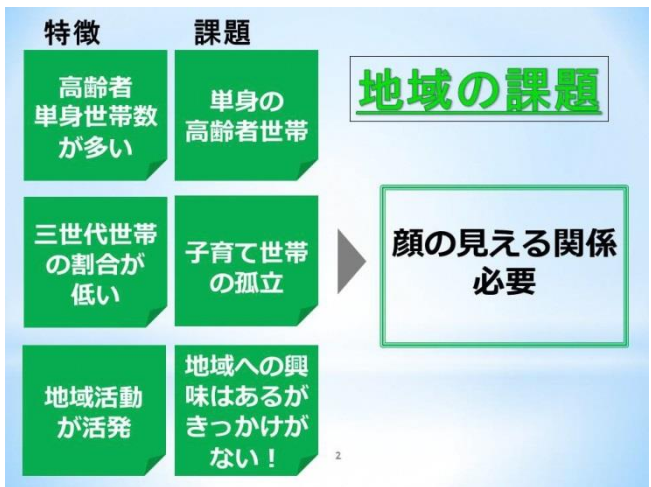
8時だよ！全員集合！ in 旭が丘中央公園



8時だよ！全員集合！ in 旭が丘中央公園



三沢中地区



- ### 7つのイベント
- を声かけの対象イベントとしてきました
- ◎ 炊き出し食事会 3回
 - ◎ 流しソーメン大会
 - ◎ 南新井まつり
 - ◎ ごみゼロ収穫祭
 - ◎ お正月餅つき大会



ごみゼロ収穫祭の様子



親になるまでに
赤ちゃんのお世話をしたことがありますか？

ある 27人 はい 73人



H29.2 モグモグ調べ

自分の育った市町村で
子育てをしていますか？

はい 17人 いいえ 83人

H29.2 モグモグ調べ

地域で「つながり」が
ほいと感じていますか？

はい 92人



H29.2 モグモグ調べ

子育てしている現状

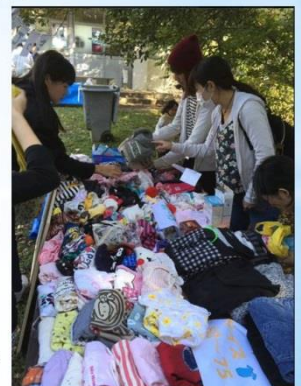
- 母親が育った場所とは
違う場所で子育てが多い
結婚 転勤

⇒ 孤独 不安

11

- 不用となった物を集め、
持っていってもらう

「もってけ市」
を開催



12

- 外に出かけるのを少し躊躇するような人達が運営側として参加

⇒地域のひとりだと実感

- 参加するママたちが、さらにママ友に声をかけた

⇒人が人を呼んだ



- 来ていたお母さんが自分の地域の自治会や他の活動を知りたい

⇒ 自治会を紹介

加入につながった

⇒ 地域の人に出会い

ほかの活動にも加入

● 自治会イベントと 炊き出し食事会を合同に

自治会の
防災ウォーキング
目的地を
交流センターに



参加者 が増えました

炊き出し食事会

例年 20人～30人



83人



ホテル観賞会
6月17日18日



ソーメン大会
8月27日



ごみゼロ収穫祭
11月5日



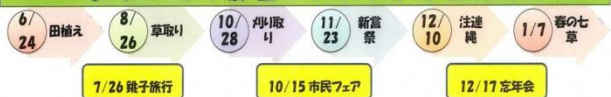
餅つき大会
1月28日

落川交流センター年間スケジュール

炊き出しマルシェ



まちづくり農園・ひょうたん田んぼ



7/26 親子旅行

10/15 市民フェア

12/17 忘年会

気がねせずに
声かけあえる地域に
する！

継続した
“声かけ”

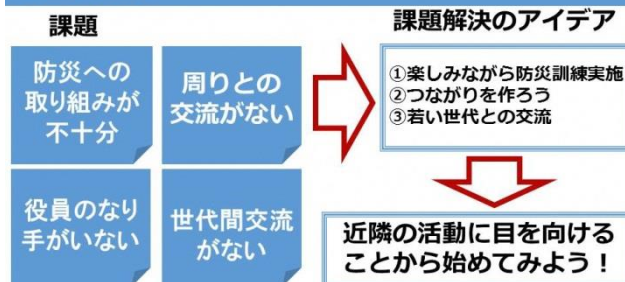
皆さんも一緒に参加してみませんか？



大坂上中地区



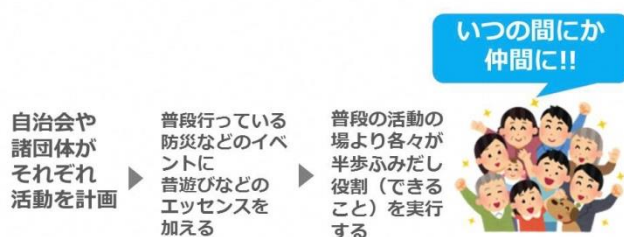
特徴と課題



団体の枠を超えて
つながりのある地域を目指そう！

アクションプラン

昔遊び会で防災を
考えよう！



なぜ昔遊び...？



文化

防災

昔あそび

アートギャラリー
& 向田邦子
コーナー



防災訓練
防災グッズ
販売

昔あそび
餅つき大会
ビンゴ大会

防災訓練の様子



アートギャラリーの様子



もちつきの様子



防災訓練の様子



アートギャラリーの様子



もちつき大会の様子



昔遊びの様子



ビンゴ大会の様子



お手伝いいただいた方々



実施結果

イベント	実行委員会 近隣地域支援	開催期間・日時	参加者・来場者
防災訓練 AM1000訓練放送 集会所に集合!	日野消防署	11月3日(木;祝) AM 10:00 ~ AM 12:00	55名 (近隣の方4~5名)
防災グッズ 展示即売会	業者	11月4日(金) AM 10:00 ~ AM 12:00	20名 (推定)
アートギャラリー 向田栞子コーナー	居住者/ ボランティア	11月3日(木;祝) ~ 11月6日(日) AM 10:00 ~ PM 16:30	167名 (4日間のべ)
餅つき大会 実演と販売	大坂上都営 自治会	11月3日(木;祝) ~ 11月6日(日)	90名 (推定)
昔あそび けん玉、お手玉 ペーゴマ 輪投げ	実践女子大学 ボランティア ひのペーゴマクラブ	11月6日(日) AM 10:00 ~ PM 13:00	75名 (推定)
ビンゴ大会	シニアクラブ (団地内) ソフトボール部 (団地内)	11月6日(日) PM 13:30 ~ スタート	71名
お茶の会 ♡ちよと一服	シニアクラブ (団地内)	11月6日(日) AM 10:00 ~ PM 15:00	45名 (推定)



期間中7つの
イベントに
のべ**523名**
(内ボランティアスタッフ
はのべ75名)
の方々にご参加
とご協力をいた
だきました。

※ 昨年度実績は約160名
(3倍以上の参加数増!)



平山中地区



平山中地区のアクションプラン

平山中



1

平山中地区のアクションプラン

平山中

地域の課題

- 1 空き家対策
- 2 防災減災
- 3 つながりが希薄

課題はたくさんある。解決のためには交流が必要。

ねらい

どんな活動も人の結びつきから。
地域の組織交流から始めてみよう。

2

平山中地区のアクションプランは、

平山中

自分たちの
平山地域懇談会を開く
名称は「**平山わの会**」

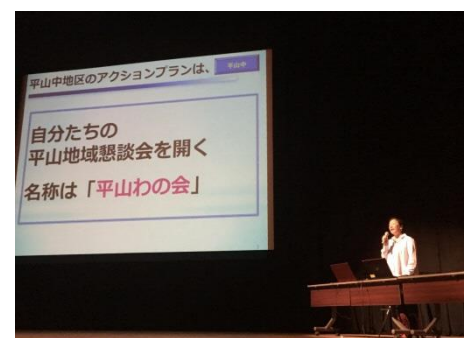
3

平山わの会は、

平山中

- ①地域活動の情報交換・協議の場を作る。
- ②まずは組織・団体の結びつきを強める。
- ③高齢化・災害対策・空き家問題等々はその中で。

4



平山わの会の主な活動

平山中

	実施日	内 容
①	H28. 7.28	平山中地区の災害の想定
②	H28.11.15	知って安心認知症
③	H29.3.25	平山用水を歩こう

5

知って安心認知症

平山中



- ・チェックリストで認知症がどの程度の段階かわかる。
- ・認知症の進行度合いによって受けられるサービスが違ってくる。
- ・包括支援センターの役割は、○相談窓口 ○介護保険などの手続き ○訪問など

平山中地区の災害の想定

平山中



6

※大まかな範囲です

平山用水を歩こう

平山中



8

平山わの会がハブの機能

平山中



V パネルディスカッション

株式会社まちづくり研究所代表取締役
井上 赫郎 氏のコーディネートのもと、
八中学校区の実行委員の代表者がアクシ
ョンプランについて意見を出し合いまし
た。

どの地区も共通して、“苦勞”より“楽
しかった”という思いが強かったよう
です。



中学校区	登壇者	
一中地区	NP0 法人子どもへのまなざし	理事 藤浪 里佳 氏
二中地区	多摩平五丁目自治会	会長 茂呂 泰一郎 氏
七生中地区	日野市消防団第7分団	第2部部長 和田 貴善 氏
三中地区	梅が丘自治会	役員 林 諭美 氏
四中地区	日野第六小学校 学校支援コーディネーター	東 桜子 氏
三沢中地区	子育てカフェモグモグ	栗澤 稚富美 氏
大坂上中地区	日野新坂下住宅管理組合自治会	山中 義明 氏
平山中地区	平山小学校 学校支援コーディネーター	根津 美満子 氏

井上赫郎氏（以下、「井上」。）：どうもみなさんこんにちは。井上と申します。だいぶ時間が経過して、だいぶ熱の入った発表を聞き、お疲れだと思いますし、お腹も減っているかと思いますが、もう30分ほどお付き合い願いたいと思います。

今日は昨年度実施しました8つの地域のアクションプランについての発表がなされました。どのグループも大変熱の入った報告でしたけれども、想いはみなさんそれぞれ似通っているところがあるなあと、感じました。

当然地域によって地域の特性が違いますし住んでいる場所も違うので、在り様は色々だと思いますけど、願うところは一つかなというような気がいたしました。

私は寅さんが大変好きでございまして、「男はつらいよ」ですね。あれはもう何度見たかわかりませんが、あの映画は何を言ってるんだろうといつも考えていました。それは最近気が付いたんだ

ですけど、あれは「人は一人では生きていけないんだ」ということを言っているんだと感じました。

今日皆さん方がやってきたこと、発表されたことは、その証の一つかなと、そういう風に思っています。

そこで今日皆さんが発表したことはどういう風に考えたらいいか、そしてどう発展させたらいいのか、ということの若干のまとめを試みたいと思っています。

パネラーの方に順番に共通の質問をしたいと思います。

一つ目は、先ほどの発表されたようにアクションプランを進めるにあたって、一番大変だったことあるいは苦労したこと、それを教えていただきたい。

二つ目は、アクションプランをやってみて、今どう感じているのか、感想ですね。よかったとか悪かったとか大変だとかいろんな感想があるかと思いますが、それを聞かせていただきたいと思います。

限られた時間ですので、最大2分くらいでその2つの質問に各グループで順繰りに答えていただき、ちょっと関連して少し質問をするかもしれません。よろしくお願いします。

そのあと、少し整理したいという風に思いますので、よろしくお願いします。

それでは発表順になるかと思いますが、手前の一中地区からお願いしたいと思います。

一中地区実行委員“藤浪さん”（以下、「一中」。）：まず第一点、アクションプランを進めるにあたり、苦労したり大変だったことということですが、一中地区は古くから住んでいらっしゃる方と新しい方とが混在している地域で、アクションプランのメンバーの中も、自治会さんの参加がなかなか少なく、活動団体の方が多いという点があります。**自治会さんの参加を促したくても、なかなか今やっていらっしゃる活動で手一杯で、夜わざわざ時間を割いて来られるというのは大変な**のかなと思って、会議を進めていくことから苦労したということがまず一番大きいです。

今回はイベントをやったのですが、外でのイベントはやはり当日雨で中止ということもあり、思うようにいかなかったというのが実情です。

やってみた感想ですが、ただこうやって大変な思いを雨の日にしたことで、雨って結構大変なことと、昨年実は万願寺地区で夏に大雨が降って避難勧告が出たということがありました。その二点が一中地区で住んでいるものとしては心に大きく負って、今のアクションプランでは実は、防災ではなく水防について話し合っています。で、四小の防災会で活動している若いお母さんたちがすごく一生懸命考えているので、今は水防について少し話を進めていこうかなと思っています。

以上から、大変な思いをしたという経験を次のアクションに活かしていきたい、ということで、アクションプランを継続してやっていきたいと思っています。

井上：ありがとうございます。やってみてよかったですか？大変だったかもしれませんが。

一中：それはもうよかったですね。今まで近所にある地域包括の方とかも、そこに建物があるな、というのは分かってたんですけども、イベントとかでいらっしゃる職員の方のことまで分からなくて、地域包括支援センターでやっている「たまカフェ」という**地域に開かれた集まりにも参加**させていただきました。

井上：ありがとうございます。今ちょっと最初に自治会の方の参加が少なく市民団体が多いという話がありましたが、申し訳ありません、8名のうち自治会の役員さんの方手を挙げてもらって

もよろしいですか。

(3名挙手)

はい、じゃあ、その方たちは、アクションプランを通じて、自治会の何かがあがった、ですとか、自治会の活動に影響があったかとか、そういう感想があれば追加で言っていただければと思います。

それでは二中地区をお願いします。

二中地区実行委員“茂呂さん”(以下、「二中」):

二中地区は特別苦勞したという印象はないんですが、一番最初に集まったメンバーを見て、とりあえずひとりひとり意見を聞いて、すべてを

受け入れてからみんなで話し合うという形をとりましたので、特別苦勞はなかったですね。

地域懇談会が年2回、前年度とかもあった時でも、事前に集まった方が良いという自然な流れで集まりましたし、今回のアクションプランの発表も、事前にリハをした方がいよねという話になって、一昨日リハをやったわけですから、特別それで苦勞したということはありません。



井上: やってみての感想はいかがでしたか。

二中: 感想は、よかったですよ。こんなに良いメンバーと知り合えてよかったなど改めて感じましたし、その割にはお互いにみんな地域を知らないところがあるねと、抜け落ちている部分もあったんで、それもお互いの情報を知って補完し合ったのでよかったと思います。

井上: 初めて出会った方も結構いたのですか。

二中: いました。

井上: 自治会の活動はいかがでしたか。

二中: 自治会はあんまり変わらないですかね。アクションプランで行ったパン屋めぐりを自治会でも行ってみました。

井上: 自治会の内部で、こういう活動に参加するとか、強要することについて、何か違う意見はあったのでしょうか？

二中: 特別はないですけど。自治会では、来るものは拒まず去る者は追わず式なので。

井上: ありがとうございます、どうも。続きまして、七生中地区さん、よろしくお願いします。

七生中地区実行委員“和田さん”(以下、「七生中」): そうですね。苦勞した点ですよ、大変だったところ。僕自身は実は大変じゃなかったんですよ。大変な思いをしたなという思いはないのですが、ただお祭りを開催するにあたってセクションで分担制にしたので、各セクションではかなりのご苦勞はあったみたいです。例えば、「会場セッティング」と一言で言っても、やぐらはどう

するのか、太鼓はどうするのか、電飾はどうするのか。あとは物を揃えとしたら、そのお金はどうするのか。ぱっと思いつくのはやっぱりお金。

今回この話をいただいた時に、なかなかいいお金の出所がなくて、最後はもうみんなで手分けして、地域のことは地域で集めようとなりました。さっきも数字が出ましたけれども。それであの数字になりました。あとは、**人手が慢性的に足りない**というのは苦労している点ですね。

やってみてどうだったかというところなんです、やる前からなんとなく想像してたんですが、例えば平山地区は平山季重公祭りとか、豊田の方は花火が上がっていたり、よさこいであるとか、高幡の方はいつもお祭りがあって。こうした地域に囲まれているんですが、

南平、七生中地区にはお祭りがなかったんですよ。実際に今回七生BON祭りやってみて、当日の人の集まりを見たらですね、いやあ七生人は**祭りに飢えていた**んだなあっていうね。人手を見て、本当にやってよかったなあというところですね。

あと自治会の話が出たんですが、これをきっかけに、今回各自治会長さんに結構集まってもらって、この話ちょっと自治会に持って帰るよ。協力もするよと、かなりご協力いただいて。2つの自治会かな。これをいい刺激にして新しいイベントをちょっとやったよという声も聞けたので、その辺はすごく、**自治会さんとも連携をとれた**と思っています。



井上：七生中さんに是非聞きたいことが一つありまして。あの、なんで「BON 祭り」なのですか。

七生中：ああ、いいご質問でございます。まあそうですね。まず盆踊りをやろうってことで、曲の選定もありますよね。やっぱり僕らの頃はドラえもん音頭とか、アラレちゃん音頭とかそういうところだったんですけども、新しいスタイルの盆踊りを、やっぱり地域の方も若い方も参加出来るものとして、たまたま検索したところ YouTube でニュー盆踊りというキーワードがありまして。それを検索したらですね、今時のダンシングヒーローが、今時か知りませんが、あの踊りかなり全国区らしいんですよ。それを七生らしく取り入れようというところで。実際やってみたらお歳を召した方も踊ってらして。

井上：「BON 祭り」の「BON」は、新しい要素を入れた祭りを意図しようという。

七生中：そうですね。最初は盆ダンスとかっていう案もあったんですが。ダンスは私は踊れないっていうご意見もあって。ここは響きだけでも盆踊りを残して。表記は今時のBONでやってみました。

井上：もう一つ。先ほど、ペンキ屋さんのお話しが出ましたが、あれっていうのは誰か知り合いがいて、声かけたんでしょうか。

七生中：そうですね。僕のあの、中学校の同級生、今は消防団の人なんです、地元でペンキ屋をやってまして、ちょっと相談したら「すぐやってやるよ」と。あとあの紅白の電球？あれも物自体は購入したんですが、その配線なんかは地元の電気屋さんが。これまた中学校の後輩なんで

すけれども、「やりますよ先輩～」なんて言ってぱっとやってくれて。本当にマンパワーでしたね。

井上：これが一番諸力融合だなと思いました。ありがとうございます。それでは次の三中地区お願いします。

三中地区実行委員“林さん”（以下、「三中」。）：

苦勞した点、大変だった点なんですけど、私もまったく、大変だったなとか、これ苦勞したなということが全くなくてですね。メンバーにも非常に恵まれたこともありまして。カエルキャラバンの実施をしていますけれども。実際に今までにも何度もカエルキャラバンをいろんなところで経験されてきたメンバーもいらっしやいますし。あとは社会福祉協議会の方からもご支援いただいておりますので、本当に苦勞することはほとんどなく、ただただ楽しく活動させていただいております。

実際アクションプランに参加させていただいて、私自身いろんな地域の方と今まで自分の町内、自治会の方としかほとんど交流がなかったんですが、他の老人会ですとか学生の方と交流が出来て、お話が出来てそれだけでも楽しいですし、カエルキャラバンの実施の中で皆さんご参加いただいている方がとてもイキイキと参加しているところが、私としてはとても嬉しいなと思っています。



井上：ありがとうございます。先ほどお子さんがいやいやなのか知りませんが、よかったと思うと言ってましたけれど本音でしょうか、どう思われますか？みんな喜んでたって感じでしょうか。

三中：そうですね。いやいや参加されてるっていう方は私が見る限りではいらっしやらなかったと思います。初めての参加で戸惑われているなって思う方はいらっしやったんですけども。自主的に本当に興味があって来ていただいている方ばかりなので、こちらが強制して来て下さいっていう風にやっていることではないので、ほんとにみなさん最後には笑顔で帰っていただいて、楽しんでいただけていたんじゃないかなって思っています。

井上：ということはお年寄りもイキイキとやられて、子供も楽しんでくれたということですね。

三中：はい。プログラムの中で毛布を担架代わりにして人を運べるようにするっていうプログラムがあるんですけども、その時にも結構お歳を召した方でも「ちょっと私が実際乗ってみるから、みんなで持ってみて」って言って下さったりとか、実際その場で持つだけじゃなくて、「ちょっとこの会場の中一周してみようよ」って言っていただく方とか、ほんとに皆さん積極的に参加いただいているという印象です。

井上：ありがとうございます、どうも。それでは次、四中地区ですね。お願いします。

四中地区実行委員（以下、「四中」。）：大変だったこと、私もそんなに認識はしていないんですが。

ただ今年頑張ってちょっと無理をしようという感じはありました。というのは、やっぱり私たち四中地区アクションプラン実行委員会という名前で動いたとしても地域ではまだ全然知られていない立場ですし、お金、協賛をして下さいと言っても実績のない団体だったので、まずお金を集めて、宣伝告知をするっていうところで、どれだけ来るかわからないというところからのチラシ



を6,000枚くらい作ったりとか、この製作グッズTシャツであるとか、のぼりであるとか、今年作ってあれば来年使えるよねっていう思いで、まずは今年頑張ろうっていう形で少し無理はしたかもしれません。はい。

でもそれだけに、最終イベントも頑張っているいろんなペアチケットであるとか景品もご用意して、たくさんイベントも用意しましたけれども、来年に向けてというところ、よかった点、感想の方にも入りますけれども、一発イベントだけではなくて、**私たちがやってきた地域の中でのラジオ体操、毎日**

日やってきたところの方が本質であろうというところで、今年以降は緩く肩肘張らずに毎日、やっていこうかなと思っていますので、そういう意味では、去年頑張って集結した力が続いていくなかって楽しみに思っているところです。

井上：ありがとうございます。私先ほど間違えましたね。お子さんがいたのはそちらの四中地区に出てきたお子さんですね。同じ質問でお答えいただけますか？

四中：はい。もう心から喜んでいただいたので、いただいたというか喜んでましたね。**彼が一番公園を盛り上げてくれて、自らラジオ体操を地域のおじいちゃんおばあちゃんにも声をかけて楽しんでくれました。**

井上：ありがとうございます。次は三沢中お願いいたします。

三沢中地区実行委員“栗沢さん”（以下、「三沢中」。）：はい、三沢中地区は「ちょこっと声かけたい」ということで、一人暮らしをしている方とか、ちょっと気になるあの人に声をかけて外に出てもらおうというのが、最初のアクションプランの提案だったのですが、**やはり声をかけるというのはすごく難しくて、特に知らないことが怖さ**になっていたりして、お互いに急に声をかけられたら怖いだろうし、私たちも急に行って、思っていた方とちょっと印象が違ったりしたらやはり怖いってということで、声をかけていくということがすごく難しかったです。なので、義務として声をかけるのではなくて、まずは知っているあの人と一緒に参加したいとか、この方と仲良くなりたいから声をかけるんだというところから、広がっていったと思っています。

で、やってみてどうだったとかというのは、やはり、もともと落川交流センターというところでイベントが行われていたので、そこをきっか



けにそこがほんとに人と人が出会う場所になったんだなという風に思っています。そこに来て、出会うことで、私たちは橋渡しをしたつもりだったんですけど、実はそのあとはそこに来ていたお母さんが、近くのせせらぎ農園の畑でレタスもらって来たなら、私たちのところへ届けてくれるようになったりと、**橋渡しをしていたつもりが、いつの間にかお母さんたちが間に入ってくれる**ようになったりして、すごくよかったなと思っています。

井上：先ほどの「チームみ組」というのは三沢中のアクションプランの実行委員会の名前のことですね。ありがとうございます。子育て中のお母さんたちのグループが、今回のアクションプランの機会に、地域デビューしたということが、すごく色々なつながりができたという風に感じましたけれども、そういう理解でよろしいでしょうか。

三沢中：はい、そうです。

井上：ありがとうございます。それでは次は大坂上中お願い致します。

大坂上中地区実行委員（以下、「大坂上中」。）：困ったことというよりは、心配だったことをお話しさせてもらいます。私どものしんさかした秋の文化祭りというのは、3年前に年末イベントを団地内でやろうというのがきっかけではじまりました。そこで住民との間で久々のコミュニケーションがとれたような気がします。翌年は年末から秋に時期をずらして団地内のコミュニケーションの活性化を目指しておこないましたが、団地内という閉じた形ではございますが、160名の方に来ていただいて、楽しく浴衣で過ごすことができたことを覚えています。

今回アクションプラン実行委員会に参加させていただいて、近隣の自治会さんとか、実践女子大学の先生方とかいろんな方とお話することができました。その中で、私どものしんさかした秋の文化祭りを地域の協力のもと、規模拡大し行ってみないかと提案がありましたが、実はそれが一番心配だったわけです。

まず、人が集められるのかということです。

実は私どもの団地は子どもさんが激減しておりまして、東光寺小学校に通うのは、昔は3ケタくらいあったんですけど今は2ケタあるかないかです。子どもさんが非常に少ない団地ですので、せっかく色々なイベントをやっても、昔遊びと言ってもほんとに子どもさんが来てくれるのかということや餅つきなど経験がないことから実現できるのか、また応援していただいたり協力して頂いてもご迷惑をかけるのではないのかその二つが心配だったんですけども、**結果**

を言えば皆さんの協力のおかげで、500人以上の方に来ていただきましたし、アクションプラン実行委員会の中でノウハウを教えていただいたり、物をお借りしたりまたPRもしていただきました。今思えば盛大にでき、心配事も解消しました。

その後住民の皆さんから「ぜひ継続して続けていきたい」という声を非常に多くの方からいただきました。やめられなくなってしまうなと…次の心配ごとかもしれません。

またこういう地域懇談会という場や地域のイベントなどを通して、今度はもっと**地域の子どもさんにお声かけてして、集える祭りにしていければ**なと、そういう風に思っております。以上です。



井上：ありがとうございます。えっと、さきほど、二中地区の方に聞いたんですけど、自治会の活動と今回のアクションプランの関係と言いますか。

大坂上中：私たちの住宅は7棟あって250戸ある分譲住宅です。ですから、管理組合の中に自治会活動を組み入れたという形で、もちろん全員が対象になるようになっています。

ですから、自治会活動というよりは、理事会の中で色々動きをしながら実行委員会を作って、といった中での活動でできましたので、そういう意味では皆さんにご理解いただけたイベントになったかな、と思っております。

井上：ありがとうございます。それでは最後になりますけれども平山中お願い致します。

平山中地区実行委員「根津さん」（以下、「平山中」）：私は困ったところというよりは、努力したところについてお話させていただきたいんですが、先ほども少し触れさせていただきましたが、平山中地区は山と川に囲まれて、なおかつ山側には新興住宅地の方々、川に近いところには地域の地元の方々がお住まいになられていて、なおかつ農業がとても盛んな地域となっており、実は自治会も含めて地域に対して何かをしようというところがすごく希薄な場所となっております。今回アクションプランを立ち上げた状況でも、なかなかその地元の方々の協力というのが得られないところが今一番努力をしなければいけないところでした。やはり**地域を盛り立てていくには、どこか偏った地域の方だけではなく、万遍なく色々な方々に集まっていただいて、色々な意見を出し合っていくのが大事**だと、思っております。今までも努力し、これからも努力しなくてはならないのは、なるべくたくさんの方々、色々な状況の方々にお集まりいただくことになるかなと思っております。

で、よかった点なんですけど、今までの皆さんも仰っていましたが、色々な方々、世代を超えた方々、色々な立場の方々と知り合いになれたことももちろんなんですけど、アクションプランに参加をしてみて、例えば空き家対策を、空き家活動をされていらっしゃる方とか、平山地域の平山小学校の他に、元平山台小学校、今現在は名前が変わりまして「平山台健康・市民支援センター」という風になっているんですが、活用すればとても素晴らしい活動が出来るというよ



うな宝もたくさんあることがよく分かり、またそういった方々も会に足を運んでくださって、**いろんな情報を与えて下さる。そういったことを知ることができたことが一番の収穫**だったなと思います。

その収穫をこれから先どのように展開していけるか。これはまたみなさんのたくさんの知恵を借りながら頑張っていきたいなと思っております。以上です。

井上：ありがとうございます。私も一度平山小ですかね、地域懇談会やってるところに行ったら、一つのグループが子どもさんだけでできていて、子どもさんが非常に活発な議論をしていて。他のグループよりもずっと出来が良かった気がしたんですけども。なんかそういう働きかけみたいなのをしたんですかね？子どもさんについて、どのようにお考えですか？

平山中：平山小学校は日野で2校あるんですが、「コミュニティスクール」ということで、開かれた

学校を目指しております。先ほど少し紹介させていただきました防災訓練を含めまして、平山小学校での新しい单元として、「生き抜く科」というものを開発しております。それに伴いまして、やはり子どもたちもこういった地域の方々と顔見知りになるということを目指して、あそこに働きかけをしてまいりました。

井上：ありがとうございました。なんか 45 分でやめてくれってメモがはいりました。もう締めたという風に思います。どうもあの、色々な意見ありがとうございました。色々な苦労は・・・どちらかというと皆さん「楽しく」、あまり苦労はしなかったという意見が多かったと思うんですけど、**一番大変だったのは新しい仲間とか、なかなか参加しない人をどう呼びかけるか**っていうことに苦慮したのかなという風に思います。

チラシを配ったり知り合いを通じて呼びかけたり、色々なことをしたんだろうと思いますけれども、なかなかどうしても嫌だっという人もたくさんいるかと思うので、無理やりってことは必要ないかもしれませんが、なんかその辺は考えどころの一つかなと思っています。

今回このアクションプランそのものの、私の感想はとにかく、この懇談会自体がいつも 4、50 名が参加されていて、アクションプランの実行委員会も十数名参加されてて、なんかイベントとかいうのをやると、何百人という感じで参加されてて、すごい人数だなと思います。で、しかもみなさまその、お年寄りから子供まで、いろんな自治会から市民団体まで、いろんな立場、いろんな世代の人が集まって。これは意外とどこでもありそうなんですけれど、私もいろんな地域行きますけれども、案外、新しい試みの一つですし、意外とこう上手くいってるなと印象を持ちました。

ただ、参加人数さきほど総数 1 万人という話がありましたけれども、1 万人でも日野の人口から比べれば 20 分の 1 くらいですし、各地域で言えば、**まだまだ地域住民の一部の方が参加しているに留まっている**んだろうなという風に思います。その辺のところを広げていくのが課題かなという風に思っています。

最初の方の**コミュニティづくり白書**の話で 3 つの知恵ってありました。**できることをやる。緩やかなつながりでいこう。地域の個性を生かそう。**そういう発想が、みなさん色々と経験してきて大変身についた考えになっているかなと思います。そういった配慮の元に進めているのが、私の様な第三者の者から言えば大成功だったなという風に感じています。

で、このことっていうのはなん何だろうってよく考えるんですけども、一つはその、先ほど自助、共助、公助の話がありました。それは防災の問題とか年寄りの問題とか子育ての問題とか、色々なことを考えると、**地域で地域の人が考えないとなかなか解決できない問題がある。これはどちらかというと役所の都合が少々あるのかもしれませんが、地域の人にしてみれば、自分が住んでいる地域がより魅力ある、より楽しい、より豊かな地域にしていくのが何より大事なこと**のかな、と思っています。難しい言葉で言うと、**地域の新しい生活価値の創造**みたいなことを目指していく、ということに、結局つながるんじゃないかな、と思っています。

このアクションプラン、みなさんの努力で一步踏み出したわけですけど、これが一つの元になっていけばいいなという風に感じております。益々のご活躍をお願いしたいと思います。

VI 懇親懇談会

1 時間・場所

平成 29 年 6 月 3 日(土) 14:00～15:00
ひの煉瓦ホール(日野市民会館) 小ホール

2 参加費用

1,000 円 (飲食代)

3 参加者

140 人

4 内容

(1) 懇親会形式の懇談

パネルディスカッション終了後、軽食を食べながら地域コミュニティに興味のある人同士で交流ができる懇親懇談会を行いました。

色々な地域の人と話していただくため、自分の地域以外の人と話したら、シールを交換して名札に貼ってもらうにしました。

全地区の人と話をシールを揃えた方は何十人もおり、地域を越えて交流ができた懇談になりました。



(2) 地域活動に携わる仲間の紹介

ア 日野市社会福祉協議会 奥住日出夫会長、地域支援係 多賀聡子係長

全地区の地域懇談会とアクションプランに関わっていただいた日野市社会福祉協議会の奥住会長と地域支援係の多賀係長からご挨拶いただきました。

イ 株式会社富士通研究所 セキュリティ研究所 特任研究員 石垣一司氏

「まちにくわわるポータルサイト Hi Know!(ひのう)」の開発に携わっていただいた株式会社富士通研究所石垣さんより、「21 世紀型共助社会の実現をめざして」というテーマで、同研究所が行ってきた取り組みなどについてお話しいただきました。



▲懇親懇談会で使用した名札



■Hi Know!(ひのう)とは??



日野市内のイベント、団体やサークル活動を紹介するポータルサイトです。

皆さまの生活において、“新しい発見”“新しい人・地域とのつながり”“やりたかったことを実現する”きかけになればと思い、掲載登録団体・サークルとともに情報を提供しています。

是非、ご覧ください！

【閲覧方法】

インターネットにつながった PC またはタブレットで

<http://www.hi-know.tokyo/> にアクセスいただくか、
サイト検索、QR コードをご利用ください。

ひのう

検索



【お問合せ】

Hi Know!(ひのう)事務局

(日野市社会福祉協議会ボランティアセンター内)

T E L : 042-582-2318

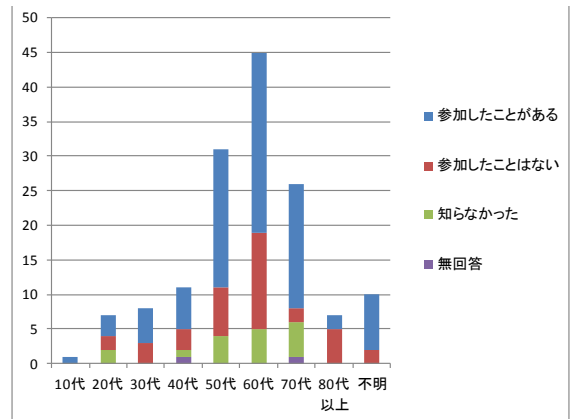
F A X : 042-582-0082

MAIL : hino-vc@hinosuke.org

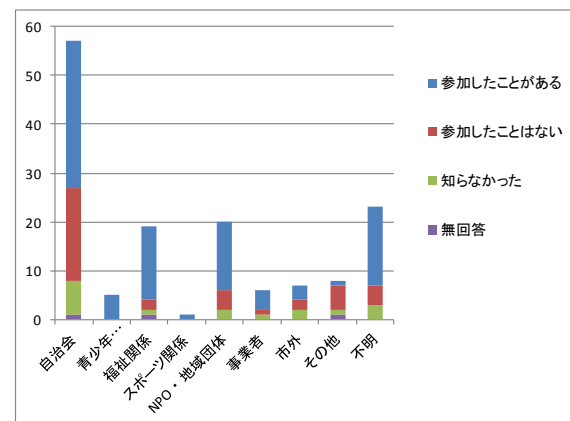
VII アンケート結果

1 今まで地域懇談会に参加したことがありますか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
参加したことがある	1	3	5	6	20	26	18	2	8	89
参加したことはない		2	3	3	7	14	2	5	2	38
知らなかった		2		1	4	5	5			17
無回答				1			1			2
合計	1	7	8	11	31	45	26	7	10	146

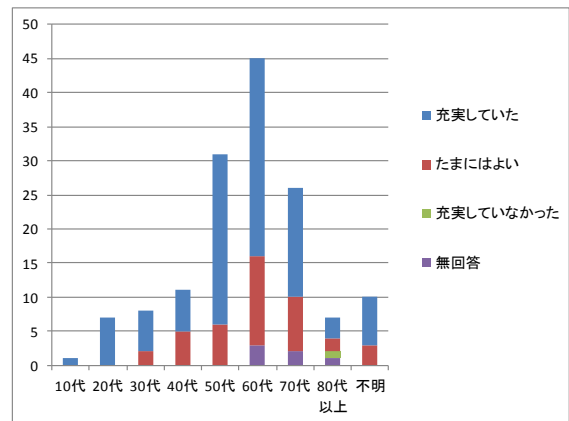


	自治会	青少年関係	福祉関係	スポーツ関係	NPO・地域団体	事業者	市外	その他	不明	合計
参加したことがある	30	5	15	1	14	4	3	1	16	89
参加したことはない	19		2		4	1	2	5	4	37
知らなかった	7		1		2	1	2	1	3	17
無回答	1		1					1		3
合計	57	5	19	1	20	6	7	8	23	146

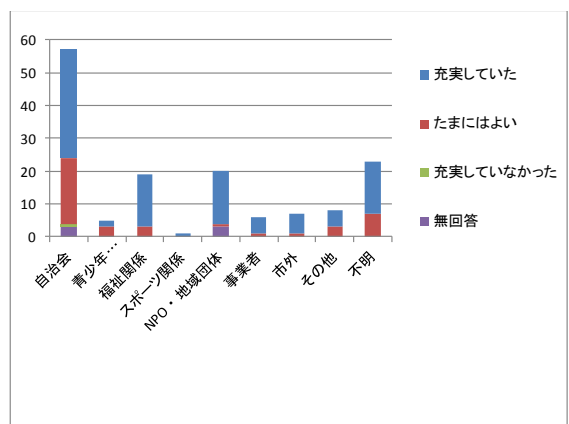


2 今までは地区ごとの懇談を行ってまいりましたが、全地区合同の事例報告会はいかがでしたか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
充実していた	1	7	6	6	25	29	16	3	7	100
たまにはよい			2	5	6	13	8	2	3	39
充実していなかった								1		1
無回答						3	2	1		6
合計	1	7	8	11	31	45	26	7	10	146



	自治会	青少年関係	福祉関係	スポーツ関係	NPO・地域団体	事業者	市外	その他	不明	合計
充実していた	33	2	16	1	16	5	6	5	16	100
たまにはよい	20	3	3		1	1	1	3	7	39
充実していなかった	1									1
無回答	3				3					6
合計	57	5	19	1	20	6	7	8	23	146



1 充実していた 100件

(理由)

■他地区の取組みがわかってよかった。

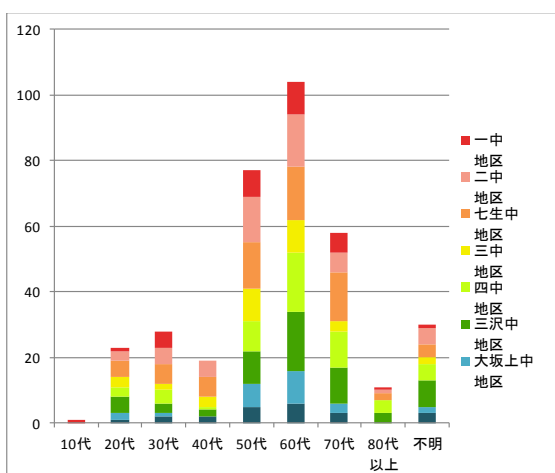
- ・他地区の取り組みや課題を共有できたのは良いと思う。
- ・他の地域の発表を見ることによって、色々な構造も生まれるのではないのでしょうか。
- ・どの地域の方も熱心に取り組んでいて、みんなつながっているんだなということを強く感じました。
- ・自分なりに、地区としてもかなり一生懸命やった。
- ・みなさん頑張ってるな、と感じた。
- ・各地区の活動を知ることができ、参考になりました。
- ・発表から分厚い活動の様子、それに楽しんで取り組んでいる様子が伝わってきました。
- ・それぞれ工夫された発表でよかったと思います。
- ・地域の方々との活動状況、情報を知ることができ、大変ありがたかった。
- ・他の地域の発表がとてもよかったです。
- ・他の地域の取り組みを知ることが出来て、とても参考になりました。
- ・各地区の取り組みがわかった。
- ・各地区活発に活動なされていて感動しました。

- ・ご苦労されながら、活動を続けて成果を出している様子が見てとれました。
- ・全ての地区の方が課題への必要なことを理解していて、それを皆で共有することで、皆の意思疎通が図れると思いました。
- ・他地区の活動内容が参考になると思います。
- ・大変参考になった事例があった。今後自分の地区に活用していきたい。
- ・盛り上がりを感じる。
- ・他地区の様子がとてもよく分かった。
- ・どの地区もアクションプランを今後も続けていくと言われており、この取り組みの未来があることが確認出来た。
- ・各地区の取り組みを一度に知る事が出来た為、比較もしやすかったです。
- ・一同に会して全ての地域の取り組みが聞けたから。
- ・プランが始まった頃よりどんどん広がっている気がした。
- ・どの地域も頑張っていることが分かり、今後につながる報告会だったと思う。
- ・他の地区がどのようなことをやっているかわかって良かった。
- ・全地区の取り組みと、取り組んでいる人たちの顔が見えてよかったです。
- ・他地域の取り組みを知ることができて良かった。
- ・それぞれの「まちづくり人」の発表で、共通点が見られたり、課題が明らかになって良かった。
- ・各チームとも素晴らしい活動。原点は「人と人との繋がり」。何れのチームもしっかりと認識され活動しているのが伝わってきました。
- ・地域で活発に活動されており、色々な工夫が感じられた。
- ・自己確認にもなり、他を認め共に進める想いを感じたため。
- ・それぞれの地域が実情に応じて多様な活動を行う。他を知ることで自らを知ることが出来る。
- ・地域の繋がりが必要を感じた。
- ・各地区の特徴が溢れていて、個性が感じられた。
- ・地域の特性を生かしたアクションプランやイベントに地域の方々が楽しく参加していることを知った。
- ・全体が見えてよかった。各地区とも工夫を凝らした発表で楽しかった。
- ・他の地区の様子が良く分かり、熱い思いが伝わって来た。
- ・みなさんの地域で繋がろうという意気込み、熱意が伝わり感動しました。
- ・各地区の課題が鮮明になりプロセスもわかり、素晴らしい取り組み。
- ・年1回くらい直接他地域の話を知りたい。
- ・さまざまな活動の考え方を知る事が出来る。
- ・各地区での取り組みを知る事ができ大変参考になった。どの地区も人と人との繋がりを大切に思う工夫が興味深かった。
- ・地域それぞれの特色が出ていて、それがわかって良かった。
- ・各地区での活動が良く分かり日野市の地域特性がわかった。
- ・各プランの様子を知ることができた。
- ・他の地域の生の情報を知ることができた。
- ・違うアクションプランだが、思いが同じだということがわかった
- ・もう少し詳しく内容を知りたかった。やってみてどうなってきたのか、どう結果が出ているのか知りたい。

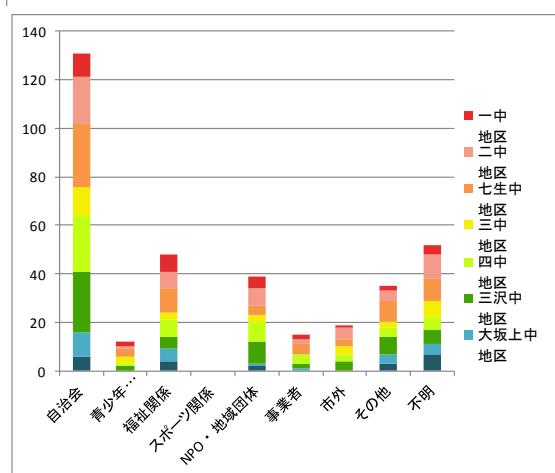
	・他地域の活動状況が聞けて大変よかった。(各活動のつまみ食いが出来る。) ・他の地域の人にも一生懸命アピールしようという気合いが感じられた。 ・他地区の活動事例が大変参考になり、刺激になった。毎年開催が望ましいが、負担が多いなら２～３年ごとでもよいと思う。 ・参加者が多かった。 ・各地区の特色が出ており、報告する側の熱意を感じた。 ・他地域がどのようなアクションプランをしているかがわかりました。 ・中学校区域が取り組まれたのは素晴らしいと思いました。 ・各地区の地域特性を比べて考えることが出来たから。 ・各地区の特色ある報告会で良い。 ・地域の人が自分の住んでいる場所について考えていることがすごいと思いました。 ・他の地区の活動が参考になった。
2	たまにはよい 39件
	(理由) ・参加したことがない地区の動きもわかってよいと思います。 ・参加人数は不明だけど、これだけの人が何かをしようと考えている、あるいは参加したいと考えているのは頼もしい。 ・他地区の活動を知る良い機会となった。 ・市の地域の状況、活動、体制を見られた。 ・いろいろな活動を知ることができた。 ・他地区の様子を知ることができた。 ・他地区の活動を知ることが出来たから。 ・ボトムアップ的だが市側のトップダウンとの融合が課題（その部分がまだ見えない） ・他地域の方との交流が出来る。 ・来年が楽しみです。 ・いろいろなものの存在を初めて知れたから。 ・他地域の活動を知れたこと。 ・日野全体がよくわかってよかった。 ・専門家の活動だと思います。自治会のハードルは上げられない。 ・義理で参加してみたが、ノリについていけなかった。 ・時間が長い。
3	充実していなかった 1件
	(理由) ・地域人口の何%の人が参加したかという報告がなく、成功と言えるのか疑問だ。
4	無回答 6件
	(理由) ・日野を本当に考えて事例報告していたと思う。

3 どの地区のプランに興味がありますか？（複数回答可）

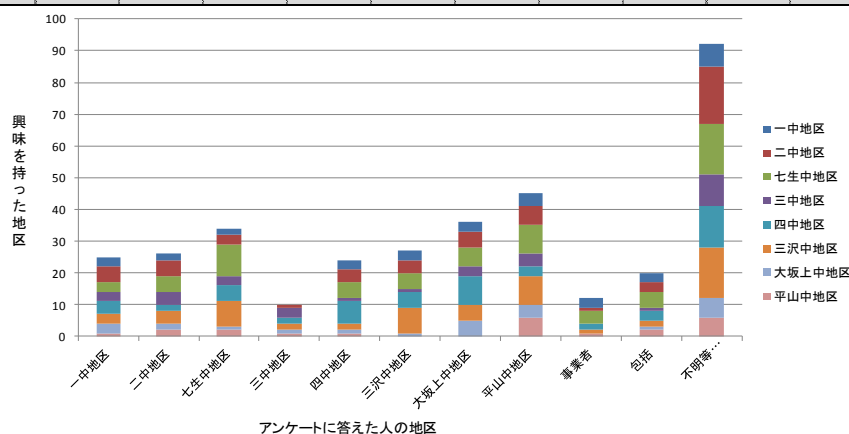
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
一中地区	1	1	5		8	10	6	1	1	33
二中地区		3	5	5	14	16	6	1	5	55
七生中地区		5	6	6	14	16	15	2	4	68
三中生地区		3	2	3	10	10	3		2	33
四中地区		3	4	1	9	18	11	4	5	55
三沢中地区		5	3	2	10	18	11	3	8	60
大坂上中地区		2	1		7	10	3		2	25
平山中地区		1	2	2	5	6	3		3	22
合計	1	23	28	19	77	104	58	11	30	351



	自治会	青少年関係	福祉関係	スポーツ関係	NPO・地域団体	事業者	市外	その他	不明	合計
一中地区	10	2	7		5	2	1	2	4	33
二中地区	19	1	7		7	2	5	4	10	55
七生中地区	26	3	10		4	4	3	9	9	68
三中生地区	12	3	3		3		3	2	7	33
四中地区	23	1	7		8	4	3	4	5	55
三沢中地区	25	2	5		9	2	4	7	6	60
大坂上中地区	10		5		1	1		4	4	25
平山中地区	6		4		2			3	7	22
合計	131	12	48	0	39	15	19	35	52	351



		アンケートに答えた人の地区											合計
		一中地区	二中地区	七生中地区	三中生地区	四中地区	三沢中地区	大坂上中地区	平山中地区	事業者	包括	不明等その他	
興味を持った地区	一中地区	3	2	2	0	3	3	3	4	3	3	7	33
	二中地区	5	5	3	1	4	4	5	6	1	3	18	55
	七生中地区	3	5	10	0	5	5	6	9	4	5	16	68
	三中生地区	3	4	3	3	1	1	3	4	0	1	10	33
	四中地区	4	2	5	2	7	5	9	3	2	3	13	55
	三沢中地区	3	4	8	2	2	8	5	9	1	2	16	60
	大坂上中地区	3	2	1	1	1	1	5	4	0	1	6	25
	平山中地区	1	2	2	1	1	0	0	6	1	2	6	22
合計		25	26	34	10	24	27	36	45	12	20	92	351



■ アンケートの意見を、住んでいる地区ごとに分けたもの。()内は回答者が興味を持った地区。

一中地区の人

- ・ いざというときの行動を考えておきたい。地域との繋がり方が大事と思う。
(三中、四中、大坂上中)
- ・ 二中については参加したいと思っていた。今まで知らなかった地域を歩いてみたい。(一中、二中)
- ・ 単発の活動でなく、継続(年間通じて)活動である。(二中、三沢中)
- ・ それぞれの地区の成果が大きく出ていることが伝わりました。これらを一つの地区ではなく日野市全体にしていくにはどうしたらよいだろうか。他の地区にプランを伝える方法、プランを伝え地区以外からも参加出来るように。(未記入)
- ・ プランに楽しさがある。(二中、七生中)
- ・ 楽しめるイベントがあるので良いと思います。(一中、七生中、四中、三沢中、大坂上中)

二中地区の人

- ・ それぞれ努力され成果を上げていたと思う。(未記入)
- ・ どの地区のプランも魅力的であった市民の力。まちづくり人の活力を実感できた。(未記入)
- ・ 各地区特徴を生かしていてよいと思う。(未記入)
- ・ やれること。地道な活動に共感できた。(一中、三中)
- ・ 手作り感いっぱいのお祭りの様で楽しそう。これからの発展祈念します。
(七生中)

七生中地区の人

- ・ 楽しんで年代問わず参加出来ている印象でした。(七生中、四中、三沢中、大坂上中)
- ・ 地域の繋がりを大切にしている。共助の繋がりになる。(平山中地区)
- ・ 我々は七生中ですが、それぞれ素晴らしいと思います。地域は違っても繋がりが一番ですね。(未記入)
- ・ 半分選ぼうと4つに決めました。全部つけてよいと思いますが、努力してやってこられた4つには申し訳ないと思います。(二中、七生中、四中、平山中)
- ・ サンマの無料配布。(三沢中)
- ・ 二中地区、七生中地区のイベントは楽しそう。三沢中地区の毎月の炊き出しや交流センターのイベントは素晴らしい取り組みだと思った。(二中、七生中、三沢中)
- ・ NPOの立場として参加しやすく、とても楽しそう。(一中、二中、七生中、三沢中)
- ・ この祭りも良くに輪を広げられたらな。広げたい。(七生中)
- ・ 防災訓練とのタイアップしているところもあり、活動の参考になりました。
(一中、七生中、三中)

三中地区の人

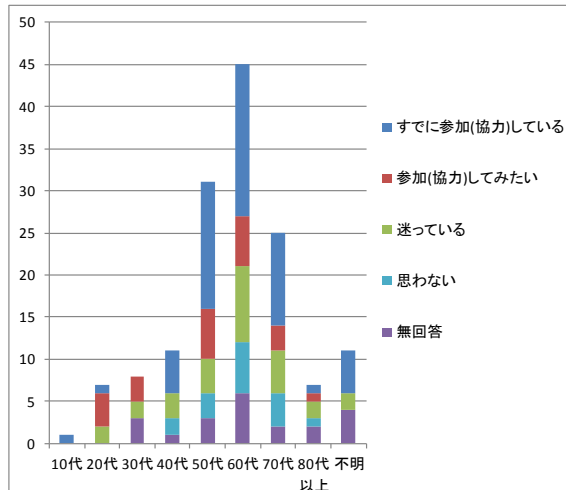
- ・ 自分も参加出来る。世代間の交流が期待出来る。(四中)
- ・ マップ作りに共有できるものがあると感じたから。(二中、三中)

・防災につながる活動に興味があるので、もっと詳しく話が聞きたい。(三中、三沢中) ・外に出られる方はそれだけでいいのですが、出られない方はどうしているのか、その辺の声掛けもしたい。(三沢中)
四中地区の人
・皆さん素晴らしかったです。仕事（社会福祉勤務）でやっていましたが、本当のボランティア精神に素晴らしいと思いました。(全部) ・全て。自治会活動の中で取り入れられそうなものは取り入れてみたい。もっと、自分の地域をよく知っていきたい。(未記入) ・季節に関係なく年間通して活動しているところ。(一中、四中) ・他の地域の催しに四中地区実行委員としてお邪魔するなり協力するなり出来れば。(二中、七生中) ・それぞれ特徴的で選ぶことは難しいが全てに興味があります。(未記入)
三沢中地区の人
・どなたでもコミュニケーションの素晴らしさを広げておられた。(七生中、三沢中、大坂上中) ・地域の繋がりを活性化するためにはイベントの実施が有効だと思います。ただ限られた予算、人員で行うには多くの制約もあり難しいと思います。(二中) ・アイデアが豊富、活動の質がとても高く発表の内容に納得できた。(三沢中) ・取り組みに熱意が感じられた。(一中、二中、三沢中)
大坂上中地区の人
・街の魅力発見と多くの人楽しく参加出来るから。(二中、七生中) ・自分自身サロンとかやっている中で必要性を感じた。(三沢中) ・防災への取り組み。(大坂上中) ・継続性もあり、住民の「つながり」のきっかけになる活動がいいですね。(未記入) ・どれも地域に合った施策だと思う。人と人とのつながり、動き出したことに意義がある。地域で核になる人とのつながり強化に興味有り。(未記入) ・少しでも体を動かせる集いがあることはよい。(四中) ・近所付き合いがしずらいような時代なので声をかけられるのはよい。(三沢中) ・子どもと老人が遊びを通じて触れ合えるのがよい。(大坂上中) ・高齢化はどの地区でも問題となっている。(三中) ・自分たちの地区でもすぐに取り入れられそう…と思った。(二中、四中) ・広い地域で参加出来ている感じ。(二中、三中、四中) ・ハイタッチとても良かった！ななおBONは楽しそう。(未記入)
平山中地区の人
・「出来ることを緩やかに」を原点に、より広く声をかけようという姿がよかった。若い人たちが中心になってやっているのもとてもよい。(全部) ・高齢の方々の興味を引けるイベントであり、世代交流も図れるから。(七生中、三沢中、大坂上中) ・街歩きの活用。(二中、平山中) ・住まいに近く楽しそう。街歩きが個人的に好きだから。(二中、七生中、平山

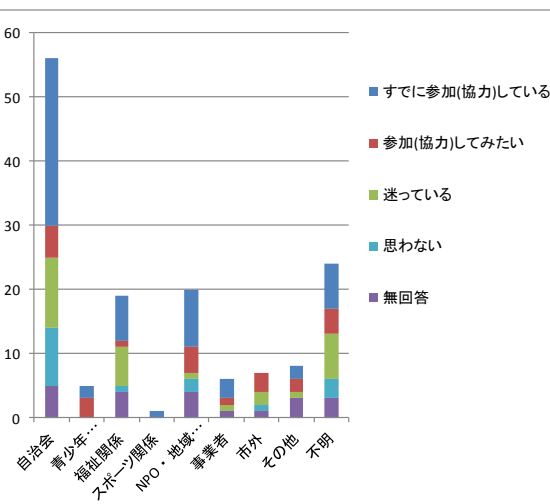
	中) ・どのプランも参加したい（計画したい）という気持ちになりました。（全部） ・既存のイベントを『声掛け』で盛り上げる『継続』の助けをする。出来そうで出来ない必要な事だと思います。（三沢中） ・イベント（老若男女が参加出来る）（一中、二中、七生中） ・三中は協力を必要としているし、七生はおもしろい。平山は盛り上げたい。（七生中、三中、平山中） ・他の地区の活動が生の発表で聞けてとても良い。（七生中、三中、四中、三沢中）
事業者	
	・誰もが参加しやすい企画、参加の輪を広げてから色々な企画を考えられる。（一中地区、二中地区、七生中地区、四中地区） ・わかりやすさ。敷居の低さ。参加したいと思う仕掛け。時間帯の選定など素晴らしいと思いました。（七生中、四中）
地域包括支援センター	
	・それぞれに興味あります。（全部）
不明等その他	
	・どの地区のプランもとても良かったです。今後のことを考えると防災について手薄ではないかと不安があり、地域で取り組む必要があると思います。（七生中、四中） ・仲田の森は公園だからみんなではしゃぐことで地域が繋がると思う。（一中） ・今後取り組んでいく目標がある。（三中） ・日常的な取り組みへの繋がりを意識しているように感じられたため。（市外）（二中、四中、三沢中） ・七生中地区は集客ができていて、皆で活発になると思うので素晴らしいと思いました。三中地区はIT的な考えでアプリ推進を期待しました。三沢中地区はフードバンクの様な考えに感銘を受けました。（市外）（七生中、三中、三沢中） ・年1回のイベントでなく、数回活動している。新しいイベントではなく、既存のイベントをうまく活用した取組み。（二中、三沢中）（市外） ・自身がその気にならなければ決して参加しない高齢者をどう巻き込むか、今後に興味あり。（三中） ・それぞれの地区が真剣に取り組んでいるのが伝わるから。（全部） ・スケールの大きさ、参加団体の多さ。（七生中） ・通年的活動がよい。（三沢中） ・共に一年中をターゲットにしているところ。継続と日常にいかに取り入れるかが最大の課題だから。（二中、三沢中） ・全体興味があつた。活動に頭が下がった。（未記入） ・最後の“平山わの会”の報告をもう少し聞きたかった。（二中、四中） ・地元出身の若い方が中心に頑張っている。楽しそう。（七生中） ・実家もあるし、住んでいるところだから。（七生中、三中）

4 アクションプランでは参加者・協力者を募集しています。参加または協力してみようと思いますか。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
すでに参加(協力)している	1	1		5	15	18	11	1	5	57
参加(協力)してみたい		4	3		6	6	3	1		23
迷っている		2	2	3	4	9	5	2	2	29
思わない				2	3	6	4	1		16
無回答			3	1	3	6	2	2	4	21
合計	1	7	8	11	31	45	25	7	11	146



	自治会	青少年関係	福祉関係	スポーツ関係	NPO・地域団体	事業者	市外	その他	不明	合計
すでに参加(協力)している	26	2	7	1	9	3		2	7	57
参加(協力)してみたい	5	3	1		4	1	3	2	4	23
迷っている	11		6		1	1	2	1	7	29
思わない	9		1		2		1		3	16
無回答	5		4		4	1	1	3	3	21
合計	56	5	19	1	20	6	7	8	24	146



1 すでに参加している 57件

(理由)

- ・地域の方々の役に立ちたいから。子どもたちを見守りたいから。
- ・協力者がもっと増えると思います。
- ・盆踊りなど参加させて頂いております。
- ・自治会が縮小しているので、他の方法で地域活動が広がればいい。
- ・大坂上都営自治会として。
- ・つながりが必要と思っているから。
- ・自治会として出来ることをやっている。今年度も是非協力をしていきたいと思っている。
- ・より広い地域の方々と知り合いになれた。続けます。
- ・まずは自治会の活性化が大切。そこに重点をおいている。
- ・七生中地区の実行委員です。
- ・一中日野本町で自治会。大坂上中では民生委員に参加している。

2	参加してみたい	23件
	(理由) ・ 前は参加者として四中地区でイベントに参加した。次はイベントを盛り上げる方に協力したい。 ・ 新居のため、まだこれからいろいろな事（地域）を学んでいきたいので、参加する時間が作れるのか心配。（まずは自治会からと思っています） ・ 自治会活動は活発な地域ですが、高齢者や子供たちの参加が少ないことに不安を感じる。 ・ 出来ることがあれば。 ・ 毎回必ずの参加が難しいこともあるのではないかと考えます。 ・ なかなか時間を作れないため、継続参加が難しい。 ・ 三中地区青少年育成会で防災お泊り会を行うのでとても参考になり、コラボしてみたい。 ・ 滝合小地区が協働出来ていないように感じるため。（子どもも増えている地域なので残念に思います） ・ 参加してみたいが時間がない。 ・ 平山地区在住なので。 ・ 余所の団体のまとめしているので、ごめんない。 ・ なんでも友達が多いことはよいことだと思うから。 ・ 私も地域に関わりたいと以前から考えていました。	
3	迷っている	29件
	(理由) ・ 発表した地域と自分の地域が離れている。 ・ 業務としてはお手伝いしている。高齢福祉事業、見守り支援ネットワークと連携出来るかあると思っていますが、それぞれの良さを消してしまうのでは、でしゃばりになってしまうのではと感じる。 ・ 当NPOとして、どのように参加できるか。 ・ 良いのは間違いないが、余裕がない？ ・ 今は首が回らないですが、自分の育ち今も住む地域にゆくゆくは貢献したいと思います。 ・ さらに忙しくなると、こなしきれなくなりそうなので。 ・ 年齢的な問題。あまり動きが出来ない。 ・ 自治会活動に取り入れ融合させていくことが大事かと思わず。多忙ゆえ難。 ・ 時間的にどうかな？ ・ 実行委員はやってもいいが裏方で。 ・ 業務多忙で時間がとれない。手一杯。	
4	思わない	16件
	(理由) ・ 今やっている活動で精一杯なので。 ・ 年齢のためかな。 ・ 参加する時間が作れないので。	

- ・ 関心はあるが時間がとれない。
- ・ 時間がとれない。
- ・ 現在自治会会長をしていて多忙なので参加出来ない。
- ・ 時間が取りにくい。
- ・ 当自治会を活性化させたい。
- ・ 体が悪い。
- ・ 混在の自治会活動に上のせの余裕がない。
- ・ 時間的な問題もあり、どれ程の協力が出来てるのかわからないため。
- ・ イベントでは継続性が乏しい。日常生活に生きる活動が欲しい。イベントは動機づけにはなるが少子高齢化の課題が解決できるものではない。
- ・ 健康上の理由。
- ・ 自治会、会員の役に立つ活動をしたい。

5 無回答 21件

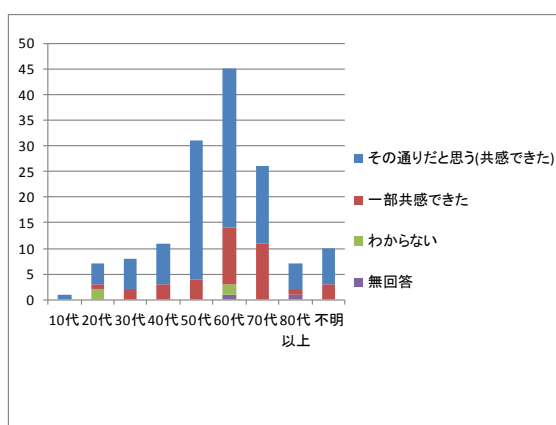
(理由)

- ・ 夜の会議には出席できない。
- ・ 自治会経由でのアクションプランのお知らせは、自治会長を通してでは会議のお知らせすら入りませんので、行政担当課も地域内の活動団体に情報を流してください。（地域懇談会も参加していいかどうか分かりませんでしたので）毎年変わる自治会長の熱意にもよります。

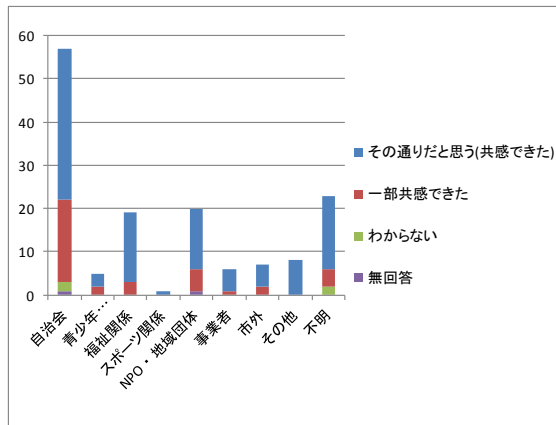


5 新しいコミュニティづくり白書の発表を聞いてどう思いましたか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
その通りだと思う(共感できた)	1	4	6	8	27	31	15	5	7	104
一部共感できた		1	2	3	4	11	11	1	3	36
わからない		2				2				4
無回答						1		1		2
合計	1	7	8	11	31	45	26	7	10	146



	自治会	青少年関係	福祉関係	スポーツ関係	NPO・地域団体	事業者	市外	その他	不明	合計
その通りだと思う(共感できた)	35	3	16	1	14	5	5	8	17	104
一部共感できた	19	2	3		5	1	2		4	36
わからない	2								2	4
無回答	1				1					2
合計	57	5	19	1	20	6	7	8	23	146



1 その通りだと思う。 104件

(理由)

- ・世代を超えた地域の輪を充実させることで、住みやすいまちに繋がると考えているため。
- ・少子高齢化社会と人口減少は今までのような地域観（自治会中心）では乗り越えられない。ベストは難しいがよりベターを探るべく行動していくことが大切だと感じた。
- ・高齢と子育て世代の（コミュニケーション）格差をどのようにして埋めていくか難しい課題に取り組んでいることに共感しました。
- ・高齢化社会を迎えるにあたり横のつながりを深める必要性。まちづくりは欠かせない。
- ・お手伝いしている「気かけ運動」と共通する問題意識を感じています。
- ・日野の特性を吟味した上での展開が明確に記されているから。
- ・地域それぞれの問題点を共有していくことが大切。
- ・自治会長を引き受けてつくづく痛感しているところ。
- ・各地区でいろんな催しを実施し、共感でき、参考になった。
- ・（その通りだと）思うが、市とコミュニティと関わり（市のアプローチのスタンス）がよくわかりませんでした。「人」とは？
- ・人口減少、高齢社会、ずっと続いていくであろう課題に何かを起こす姿に感銘しました。
- ・各種団体が参加して地域にどんな人、団体がいるのかわかるのは良いと思いま

す。

- ・行政だけでは行き届かない課題もあるから。
- ・益々大切なことだと思うから。
- ・世代間の交流は必要だと思う。
- ・家には寝るために帰るだけになってしまっているの、新しく知るのが大切と思いました。
- ・このような地域懇談会があるのを知らなかった。
- ・これからの日野市の活性化とコミュニティを強いものにしていきたい。
- ・組織（団体）に関係なく協力し合わない「地域」がまとまらないと思うので、このような取り組みに参加する対象を広げる。せめて情報を広げて欲しい。
- ・次のステージとして、活動を継続発展させるための資金確保（稼ぐ力）についても触れていく必要があると考える。
- ・自治会を引き継いでいけるように若い世代に広げて欲しい。
- ・各地区での自治会への参加がしやすいように市としてバックアップ出来ないか。
- ・まちづくり人が増えると元気なまちになるから。
- ・これからの「まちづくり人」にみんながなれるよう、楽しみながら出来ることをやっていくことがわかった。
- ・良くまとめられたな、良い発表でした。
- ・実態を正確に分析し、そこから提案されていたので。
- ・場所作りこそが市の役割であると思う。
- ・具体的な今後の施策についてもう一步具体的にしてほしい。
- ・高齢者が増えてもアクションプランで若者や子供たちとの交流が出来る場を作れることを知った。
- ・やはり人と人との繋がりが大切。活発に広がっていくとよい。
- ・白書を作成するだけでなく、新しいコミュニティづくりの先頭に立っている地域協働課の活動、素晴らしいです！
- ・地域のコミュニティづくりというものは、誰かに言われてするものではなく、自然とできるものと思っていたが、昨今の現実は難しい。必要性や有用性を明示することで意識が変わればと思う。
- ・人と人とのつながりが大切である。
- ・一番はつながりが大切なので、いろんなところと繋がってゆく。
- ・地域協働課職員がとても上手に発表していてわかりやすかった。
- ・正にその通り！…が、具体的方策が？
- ・人口減少にむけて現在の少子化、高齢化を考えていることの重要さがわかったし、今後もアピールが必要。
- ・互助、共助は必要。
- ・なるほどと思い、地域の大切さを痛感した。
- ・「新しいコミュニティづくり」は自治会の活性化にどうつながっていくのか、今後の検討課題にして欲しい。

2 一部共感できた 36件

（理由）

- ・だから「どうして行くのか」が欲しい。
- ・持ち寄りの発想がお金をかけずに知恵で乗り切るポイントだと思った。

	・まちづくり人が何処まで拡げ、伝えられていくのかが課題？ ・市役所目線の資料だと思った。 ・現状の把握は正しいと思うが、問題課題解決が出来ているとは思わない。 ・高齢化問題。 ・今後とも同じような全体会を開いてほしい。
3	わからない 4 件
	(理由)
	・私は沖縄から3年前に来たので、今までがわからないのですが、みなさん頑張っているのはわかりました。 ・一般論より、もっと個人的な困りごとにケアしたい。 ・イベントに参加していた方は共感できたと思うが、初めて参加したので冷静に聞いていた。実感として何が楽しいのかわからない。 ・難しかった。
4	無回答 2 件
	(理由)
	・残念ながら聞けませんでした。



6 その他、今回の地域懇談会に対して何かご意見がありましたら教えてください。

【ご意見、ご要望、提案】

- ・冊子を以前に見ていたが、実際に発表を見て、「人」が熱く動いているから出来たんだと納得しました。皆さんの努力が素晴らしい。一つだけ気になること。普段から思うこととして「人」をつなげるにはイベントしかないの？ **日常生活の中でジワリとつながる方法があればいいのになあ。**
- ・今回お昼を挟んだ時間帯になぜ設定したのかという声を多く聞きました。例えば10時～12時でその後軽食を頂きながら懇談会をやる方が良いと思います。ブランニング、盆踊りしてみたいと思いました。CERDはとても良いと思います。今娘も他市で子育て中なので、カフェモグモグのようなところがあればいいなと思いました。
- ・地域の中で一部の人の活動になっている。今後もっと浸透して、**多くの仲間が集える活動にすることが重要**です。
- ・地域にあったやり方で、刺激し合いながら続けていくことは素晴らしい。**他の地区のやり方を自分の地区にあったやり方で取り入れてみてはどうか。**
- ・祭り等のイベントも大事な交流の場であるが年間通じてのかつ応力の仕掛けが必要と思います。
- ・各地区のプランや実績等はよく理解でき、それぞれ大きな成果を上げてきている。これを日野市全体の大きなつながりとなっていかなくてよいのだろうか。地区の点を日野市という面にして、各々の絆（コミュニケーション/交流を広げていく）も考えていきたい。
- ・自治会を再編成してもよいのでは？住みやすい地区にしていきたい。交通の便をよくして欲しい。商店のばらつきをなくして欲しい。
- ・非常に良い、将来に活きる施策と思います。今後は①継続性（どう継続していくか）②活動予算の確保。
- ・各地域で地区毎の課題があり、共通して取り組むことが困難な場合がある。問題毎の分析会は？
- ・二中地区の発表が素晴らしかった。継続しているところも含めよくやっていると思いました。ブランニングマップの費用はどうしたのか知りたかったです。
- ・発表時間をもう少し長くして欲しかった。
- ・継続するためのリーダーの育成をどうするのが課題では？
- ・どこかの**団体に属していなくても、興味を持った方が個人で参加出来る会になる**といいですね。
- ・皆さん頑張っていらっしゃることはよく分かりました。しかしありきたりな感じは否めませんでした。金銭的、時間的、人的制約の中でボランティアでされていますので、仕方のないことだとは思いますが、もっと目新しいものを目指して頂ければ、更に地域が活性化するのではないかと思います。
- ・発表はそれぞれ工夫と熱意があってよかった。今回は時間の設定がよくなかった。
- ・プロジェクター、黄色と緑は見えにくい。
- ・自治会活動をどのように位置づけているのか不明。各自治会を束ねるような活動が大切。アクションプラン先行はよくない。
- ・発表パターンが定型化されている様子。それが実際の活動の様子をわかりづらくして

いるように思う。市が考えたフォームだと思うが、こんな発表の仕方はやめた方がいい。

- ・試みとしては理解する。/コミュニティを活性化するにはまず出会いのご挨拶を交わすことから親しみを感じあうことが大切だと思う。/市役所の幹部がコミュニティの役員と意見交換をして地域の課題を解決する努力が必要と思う。/掘り下げが足りないパネルディスカッションだった。
- ・地区毎に熱の入りが異なるのが面白い。三中地区に1つ。昨年から初めているそうですが、あまり情報が入ってきていない。防災 etc. とても大切なこととは思いますが、そのことを知らない一般会員があまりにも多いです。賛同はしますがおいてきぼり感があるのでもっと強引に共有化を図ってもいいかと思います。
- ・今後もこのような素晴らしい企画を続けてほしいと思います。協力させていただきます。

【感想】

- ・いろんな話を聞けて、日野を大切にしたいと思う心が伝わってきました。人が関わると大変なこともあります、いい生活をするにはそれが一番だと思いました。
- ・**他人との関係が希薄になってきている現在のご時世でこのような取り組みが行われていた事に感動**した。確かに私も仕事に明け暮れてやっと地域との繋がり大切さを考えるようになりました。このような取り組みがあることを是非多くの人に知って頂きたいと思います。これからも頑張ってください。(私も参加できるように考えさせていただきます)
- ・とても楽しかったです！ステキな街だなと思いました。**日野市をさらに好きになりました！**
- ・発表は各アクションプランの特色が出ていたのでよかった。パネルディスカッションがつまらなかった。
- ・**他の地区のお話が聞けたことはとても良かったです。参考にしてこれからの活動に生かせたらよい**と思います。
- ・今後、それぞれの地区が「いいとこどり」をして、他地区の動きも参考にしながら活動の幅を広げていくことに繋がるといいと思います。
- ・どこの地区も顔と子の繋がり大切さを目指している事を感じた。
- ・各発表はよくまとまっていてわかりやすかったです。
- ・他の地区でどう考えたかよく理解できた。
- ・皆様、準備お疲れ様でした。三中アクションプランで発表した息子の姿も見ることができ、他の地区の発表も通してますます日野が好きになりました。今後、若者や高齢の方と共に私自身が出来ることを参加、協力していきたいです。
- ・お疲れ様です。運営にご苦労もおありでしょうが、分かり合い、協働できればと思います。
- ・それぞれの地域の活動内容を共有して市全体で取り組んでいきたい。
- ・皆それぞれに課題があるが、それをパワーにしながら頑張っている姿が分かり、**今後の活動の励み**になった。いろいろ参考となることも多くあった。ありがとうございました。

- ・活気と温もりあるステキな地域懇談会でした。日野がますます好きになりました。地域協働課の皆さん本当にお疲れ様でした。今後ともよろしくお願い致します。
- ・**地域参加で主体性が感じられてとてもよかった。**
- ・他の地区の取り組みについて知る事が出来大変参考になりおもしろかった。三中地区のアクションプランメンバーがますます仲良くなれた。
- ・地域協働課のみなさんお疲れ様でした。とても素晴らしい内容でした。
- ・今回のような全体発表は**とても刺激になる**と思う。各自治会の繋がりもますます重要に感じた。また**中学校区内で「やってよかった」という人たちの声が多いのはやはりアクションプランが素晴らしいことだ**と思う。
- ・**まずは顔を合わせる必要があります**と思いました。参加者もスタッフも楽しめることが**重要**。
- ・皆様と力を合わせ頑張っていきたい。
- ・今後も取り組みを紹介して頂きたいと思いました。
- ・たまにこのような形でやってもらえると参考になる。
- ・**やってみることは大事だ**と思いました。
- ・自治会も機能していくと良いと感じました。
- ・とても参考になりました。多世代交流、いろいろな活動メンバー緩やかなつながり、今後の活躍が期待されます。ありがとうございました。
- ・素晴らしい取り組みだと思います。
- ・良かったと思う。
- ・各学校区の地域懇談会に**今後参加してみたいと思う**。
- ・始まったばかりという印象を受けました。見守ってみたいと思いました。
- ・市との関わりを大切にしたい。協力関係を維持したい。
- ・他地区のアクションプランを興味深く聞かせてもらいました。

【次回に向けてのご意見】

- ・次回も参加したい。
- ・大変良かったです。一年目としては上々だと思います。より多くの人々に参加してもらうことが課題です。
- ・第二回を楽しみにしています！
- ・各地区の発表熱心な活動が伺われて感心しました。11:30 開始は中途半端。午前で開会が午後開始になれば参加者も多勢になるのでは。
- ・開始時間を考えて。(昼にかかってしまわないように。腹が空いた)
- ・継続が大切です。期待します。
- ・どうか続けてください。
- ・地域で行っているイベントの情報や交通機関が分かりやすく書いたものが手に入ると行きやすくなるのではないのでしょうか？(バスで行く)
- ・是非とも継続して開催して頂きたい。**地区と企業との連携を促進するなど大きな動きを生んで欲しい。その一助となりたい。**
- ・地域のコミュニティ作りの取り組みを前進させるために今後も続けて欲しいと思いました。

- ・時間帯が良くない。午前か午後にすべき。
- ・「何かの組織に属した人」という意図していない要件を感じて二の足を踏んでいる人がいるのでは？と思う時がある。**何の所属、肩書きを持たない一市民が気軽に参加出来る、参加したいと思うアプローチが欲しい。**
- ・ぜひまた行ってください。
- ・今後も続けて頑張ってください。
- ・開催時間を考えて計画してほしい。
- ・継続して欲しい。また、小、中学校関係者にも参席して欲しい。
- ・開催時間が中途半端。(午前 or 午後 or 夜にしてほしい)。平成年度でまとめるのはおかしい。
- ・自治会にできるだけ若い人の参加を期待します。昼時をまたがない様にお願いしたい。

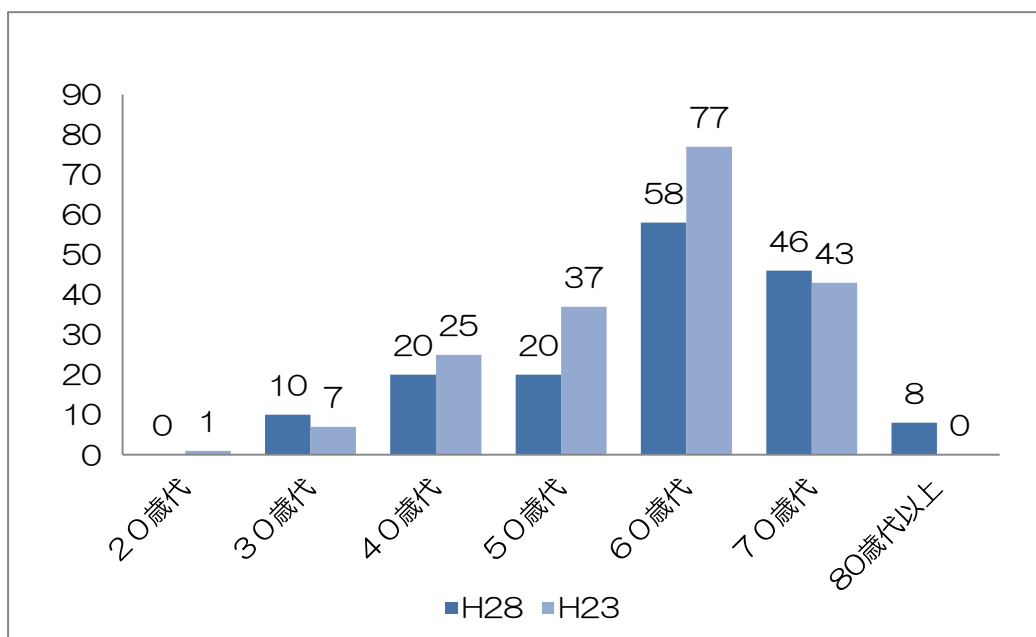
【その他】

- ・気づき、ヒントが頂けました。
- ・いろいろ参考になりました。
- ・それぞれの活動は素晴らしいと感じました。
- ・高齢福祉課「気かけ運動」や社協など横のつながり（情報交換や連絡）を、オフィシャルに出来たらと個人的に思っています。(違う視点になってしまい申し訳ありません)
- ・情報を共有していくのに（SNS）を利用して、活動を広め参加の気持ちも興味も持ってもらえるような仕組みを作りたい。
- ・今年度も地域協働課とともに地域支援をしていく予定です。
- ・自発的に楽しんでやっている様子が見られました。
- ・大変なこともあると思うが頑張ってください。
- ・賛同します。
- ・特になし。勉強になりました。
- ・地域の名称が中学校名になっているので、中学校に関係のない者には関係がないと思っていた。
- ・副市長の「**笑顔が共通語**」という言葉が素敵でした！
- ・副市長の「笑顔」→「**スマイルシティひの**」いいですね！
- ・これからも懇談会を開き横と縦の繋がりを広めてください。
- ・地域のはずれにある自治会であり、また自治会内半数は二中（五小）の子供たち。今後会長が変わって続けて懇談会に参加していけるかが難しい。

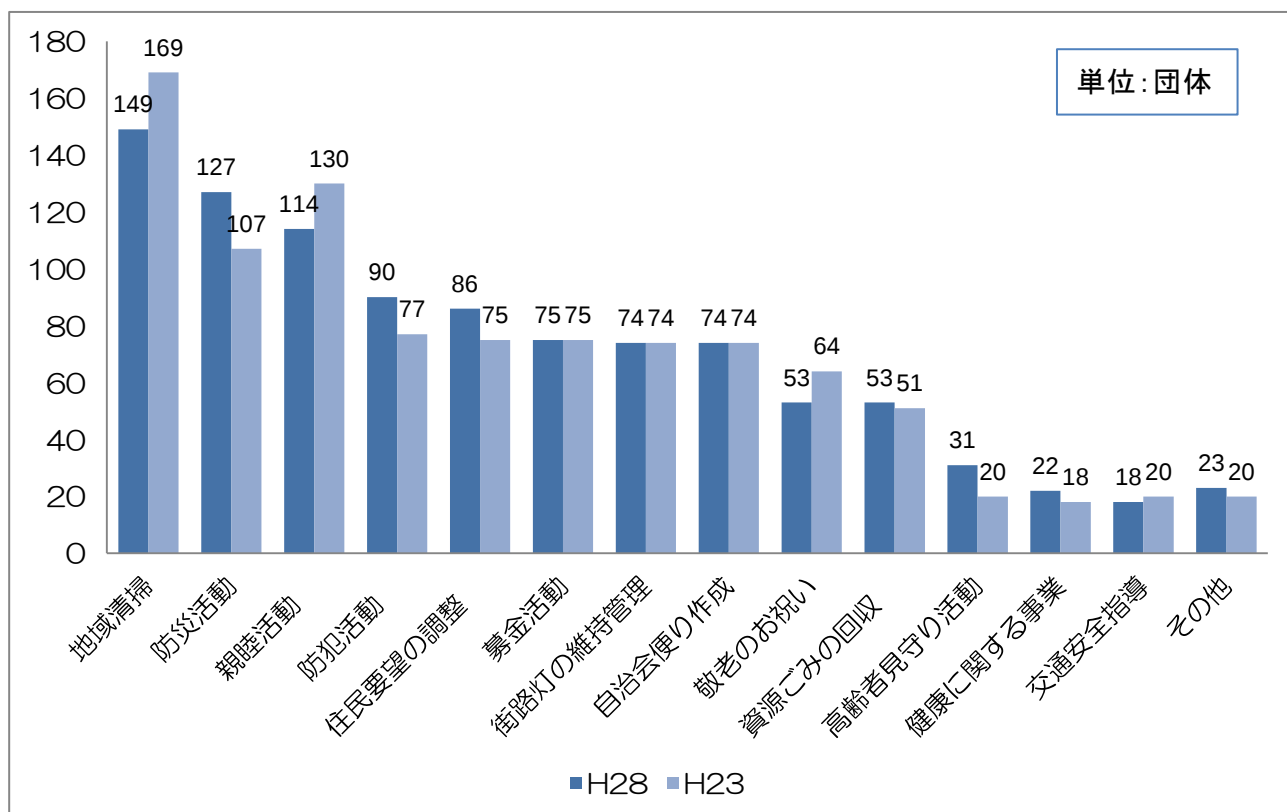
Ⅷ 自治会アンケート調査まとめ（抜粋）

平成 29 年 3 月に発行した「自治会アンケート調査まとめ」の一部を抜粋し掲載します。
詳細をご希望の場合は、日野市企画部地域協働課（TEL：581-4112）までお問合せください。

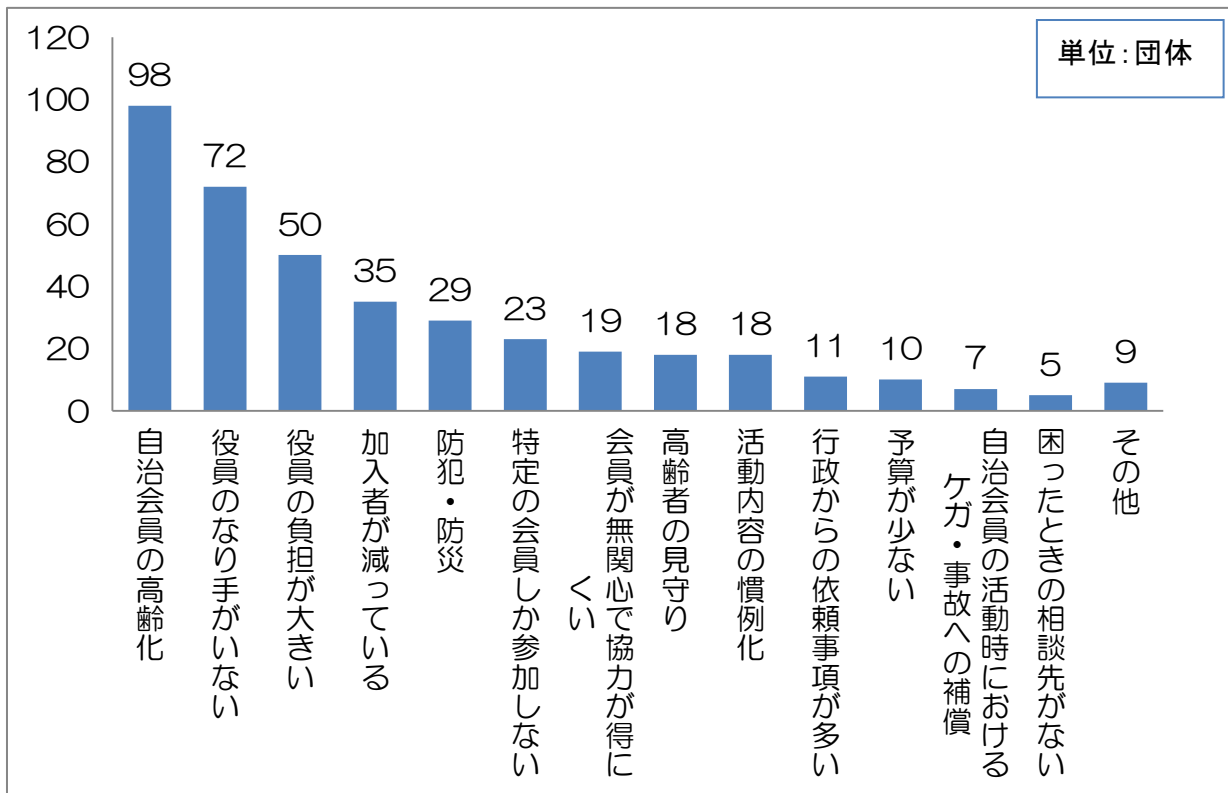
問：現在の自治会長の年齢についてお聞きます。



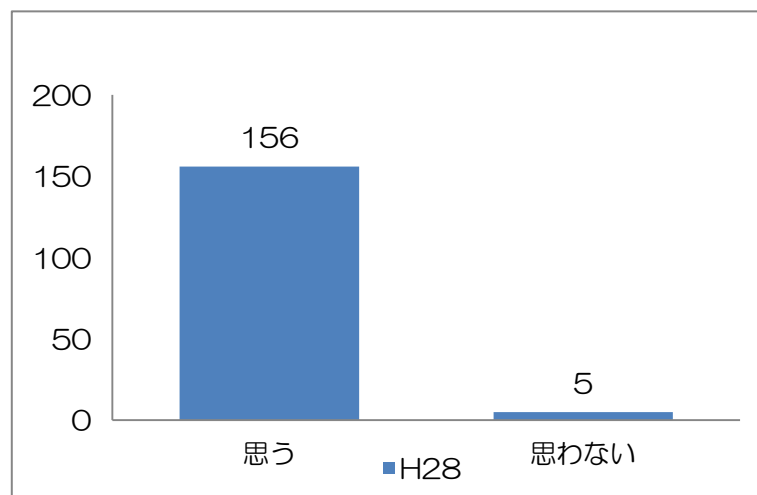
問：自治会で実施している活動についてお聞きます。



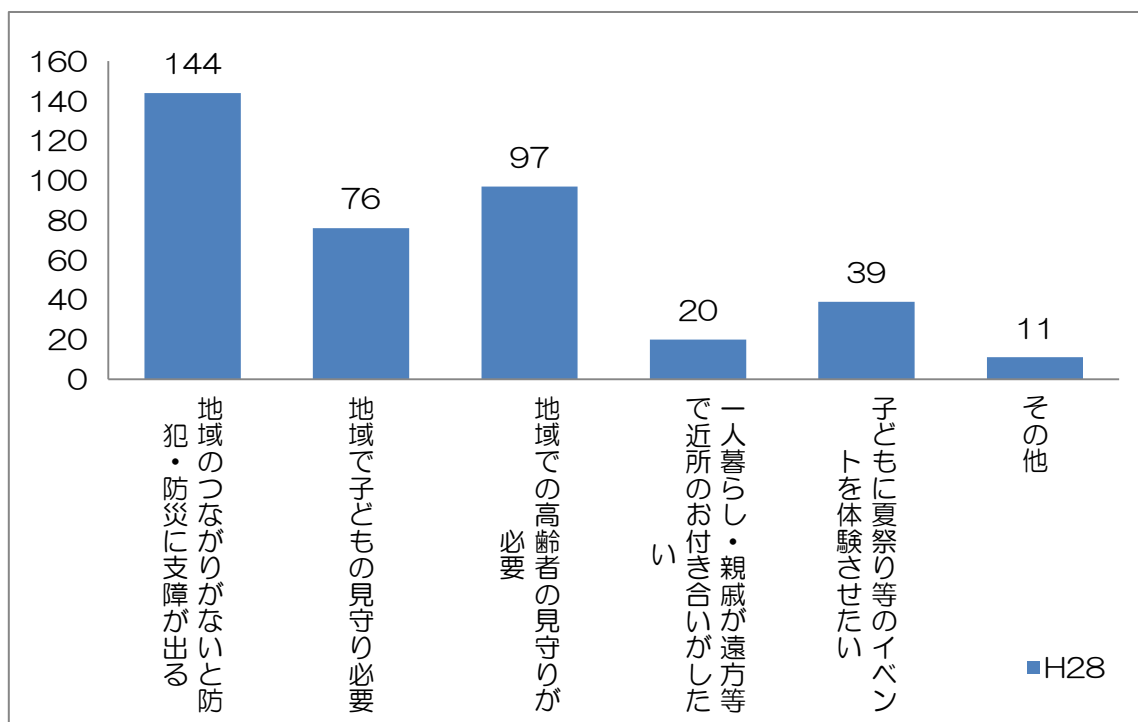
問：自治会を運営する中での悩みについてお聞きします。



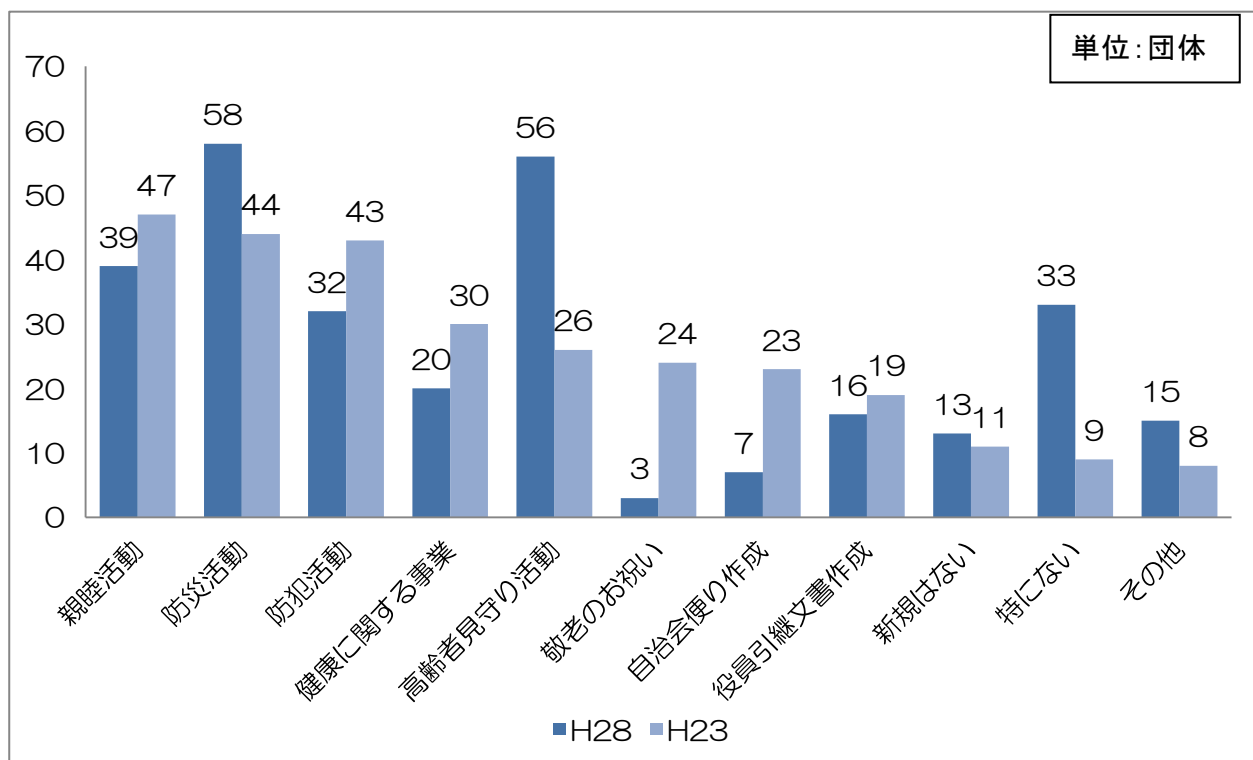
問：自治会活動の必要性についてお聞きします。



問：自治会活動は必要だと思う理由についてお聞きします。



問：自治会で今後新たに取り組みたい活動についてお聞きします。



“新しいコミュニティ”のあるまちを目指して

これから日野市は、抗いがたい「人口減少」がやってきます。

暗い未来がやってくるのでしょうか。

いいえ、我々はその未来に不思議と恐怖を覚えません。

なぜなら、地域で住みよいまちづくりに励んでいる「まちづくり人」がいるからです。

例えば、「顔の見える関係」のために居場所が必要なら、

何が必要かを市民が中心となって考えていきます。

例えば、「カフェがあるといい！」との思いがあるなら、

今ある資源に工夫を加えながら、地域の課題を解決する“拠点”ができあがります。運営に関わる地域の高齢者にとっても、生きがいづくりになります。

「まちづくり人」が地域の課題をバネにしながら、工夫し、楽しみながら創るまち、それが「新しいコミュニティのあるまち」です。

人と人をつなぐ“場所”と“場”づくり～

コミュニティセンターや公園など、“場所”という物理的空間があると、

地域は“人と人をつなぐ活動”がしやすいことがわかりました。

「身近なところ（地域の狭い範囲）」に一息つける居場所があることが、会話を生み、そして、地域の課題解決や魅力向上への知恵が生まれる「共創の場」を創ることになります。

地域懇談会では、これから参加者の皆さんとともに、市民の暮らしのすぐそばで

「熱のこもった会話」ができる“場”について考えていきたいと思います。

今まで参加いただいた方も、初めての方も、居場所づくりに興味ある方も、居場所づくりに取り組んでいる方も、気軽にふらっと参加してみてください。

一緒に「**自分らしく誇りをもって生きられる住みがいのあるまち**」を実現しませんか。

平成 29 年度 第 1 回
地域懇談会報告書
地域を超えてつながろう!!

平成 29 年 11 月発行

【編集・発行】日野市企画部地域協働課
日野市日野本町 1-6-2
日野市生活・保健センター内